

## 神戸市中央卸売市場の取扱高の推移について

### 1. 卸売市場を取り巻く環境

令和元年末以降新型コロナウイルスの影響も落ち着きだしたところにあるが、近年の消費者ニーズの多様化や生鮮食料品における流通構造の変化などとともに、令和4年以降のさまざまな物価の高騰もあり、卸売市場を取り巻く環境は、さらに厳しい状況が続いている。今年春以降においてはトラック問題による物流への影響など懸念材料はまだあるが、今後も産地や実需者などから選ばれる市場として、生鮮食品の安定供給を担うインフラとしての役割を果たせるように市場内関係者が連携して取り組んでいく必要がある。

### 2. 令和5年（暦年）神戸市場（本場・東部市場）における青果及び水産物の取扱い状況

令和5年総取扱高は、取扱数量で146,032<sup>トン</sup>（前年比94.2%）、取扱金額で79,614百万円（同比99.9%）。

ア 市場別実績では、本場、取扱数量110,145<sup>トン</sup>（前年比92.8%）、取扱金額63,514百万円（同比98.6%）、東部市場、取扱数量35,888<sup>トン</sup>（同比98.6%）、取扱金額16,099百万円（同比105.4%）であった。

イ 卸売部門別では、青果部、取扱数量で114,841<sup>トン</sup>（前年比95.1%）、取扱金額では34,057百万円（同比96.2%）。水産物部、取扱数量で31,191<sup>トン</sup>（同比90.8%）、取扱金額では45,557百万円（同比102.9%）であった。

【取扱数量・金額】

		令和5年		令和4年		令和3年	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
本場	青果	85,213 <sup>トン</sup>	25,175百万円	90,731 <sup>トン</sup>	26,692百万円	98,775 <sup>トン</sup>	26,560百万円
	対前年比	93.9%	94.3%	91.9%	100.5%	93.6%	92.9%
	水産	24,932 <sup>トン</sup>	38,340百万円	27,959 <sup>トン</sup>	37,724百万円	27,587 <sup>トン</sup>	31,487百万円
	対前年比	89.2%	101.6%	101.3%	119.8%	101.6%	103.8%
	計	110,145 <sup>トン</sup>	63,514百万円	118,690 <sup>トン</sup>	64,416百万円	126,362 <sup>トン</sup>	58,046百万円
対前年比	92.8%	98.6%	93.9%	111.0%	95.2%	98.5%	
東部市場	青果	29,628 <sup>トン</sup>	8,882百万円	30,010 <sup>トン</sup>	8,728百万円	31,154 <sup>トン</sup>	8,555百万円
	対前年比	98.7%	101.8%	96.3%	102.0%	93.7%	87.7%
	水産	6,259 <sup>トン</sup>	7,217百万円	6,405 <sup>トン</sup>	6,546百万円	7,671 <sup>トン</sup>	6,498百万円
	対前年比	97.7%	110.3%	83.5%	100.7%	97.5%	98.5%
	計	35,888 <sup>トン</sup>	16,099百万円	36,416 <sup>トン</sup>	15,273百万円	38,825 <sup>トン</sup>	15,053百万円
対前年比	98.6%	105.4%	93.8%	101.5%	94.4%	92.1%	
部門別計	青果	114,841 <sup>トン</sup>	34,057百万円	120,741 <sup>トン</sup>	35,420百万円	129,929 <sup>トン</sup>	35,115百万円
	対前年比	95.1%	96.2%	92.9%	100.9%	93.6%	91.6%
	水産	31,191 <sup>トン</sup>	45,557百万円	34,364 <sup>トン</sup>	44,270百万円	35,258 <sup>トン</sup>	37,985百万円
	対前年比	90.8%	102.9%	97.5%	116.5%	100.7%	102.8%
	計	146,032 <sup>トン</sup>	79,614百万円	155,105 <sup>トン</sup>	79,689百万円	165,187 <sup>トン</sup>	73,100百万円
対前年比	94.2%	99.9%	93.9%	109.0%	95.0%	97.1%	

※統計については項目別四捨五入のため、合計と明細で端数が一致しないことがある。

### 3. 令和5年（暦年）東部市場における花きの取扱い状況

花き部では、令和5年の取扱数量で34,355千本（前年比92.5%）、取扱金額では2,935百万円（同比95.5%）であった。

		令和5年		令和4年		令和3年	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
東部市場	花き	34,355千本 <sup>ト</sup>	2,935百万円	37,130千本 <sup>ト</sup>	3,073百万円	41,231千本 <sup>ト</sup>	2,988百万円
	対前年比	92.5%	95.5%	90.1%	102.8%	102.7%	109.5%

### 4. 令和5年（暦年）西部市場における食肉の取扱い状況

令和5年総取扱高は、頭数が26,833頭（前年比97.9%）、重量は6,820ト（前年比99.8%）、金額では16,538百万円（前年比102.8%）といずれも増加している。

#### ア 牛枝肉

頭数は11,695頭（前年比100.0%）、重量は5,239ト（前年比99.8%）、金額では15,048百万円（前年比102.5%）といずれも増加している。

#### イ 豚枝肉

頭数は15,138頭（前年比96.4%）、重量は1,315ト（前年比98.4%）、金額では799百万円（前年比107.6%）といずれも増加している。

#### ウ 部分肉等

重量は266ト（前年比107.3%）、金額では692百万円（前年比103.7%）といずれも増加している。

#### 【取扱数量・金額】

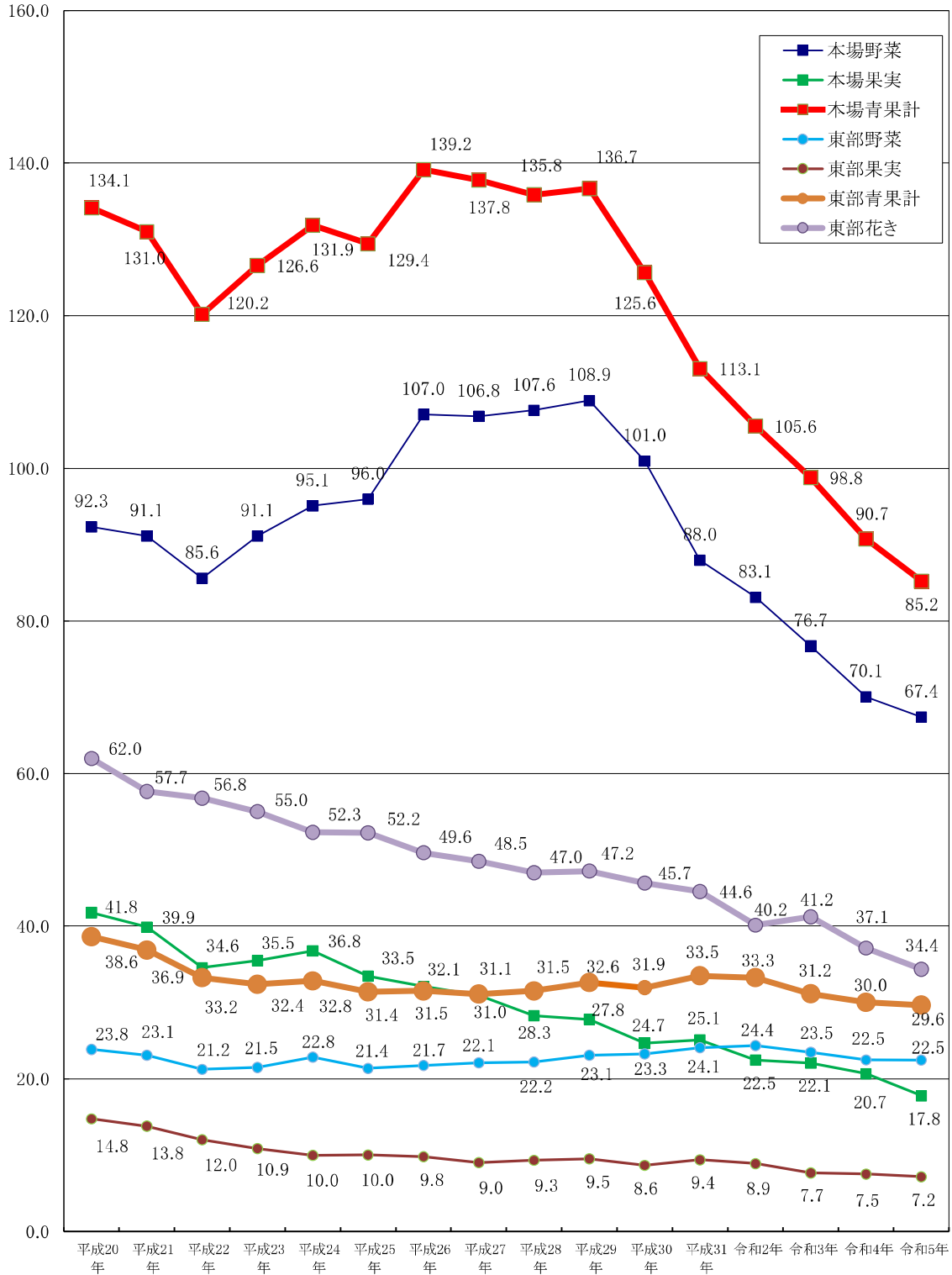
		令和5年		令和4年		令和3年	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
西部市場	牛	5,239ト <sup>ト</sup> (11,695頭)	15,048百万円	5,248ト <sup>ト</sup> (11,699頭)	14,682百万円	4,915ト <sup>ト</sup> (11,023頭)	13,928百万円
	対前年比	99.8% (100.0%)	102.5%	106.8% (106.1%)	105.4%	103.2% (102.3%)	111.6%
	豚	1,315ト <sup>ト</sup> (15,138頭)	799百万円	1,337ト <sup>ト</sup> (15,710頭)	742百万円	1,314ト <sup>ト</sup> (15,540頭)	694百万円
	対前年比	98.4% (96.4%)	107.6%	101.8% (101.1%)	106.9%	109.4% (108.0%)	104.8%
	部分肉等	266ト <sup>ト</sup>	692百万円	248ト <sup>ト</sup>	667百万円	182ト <sup>ト</sup>	532百万円
	対前年比	107.3%	103.7%	136.3%	125.4%	148.0%	134.0%
	計	6,820ト <sup>ト</sup> (26,833頭)	16,538百万円	6,832ト <sup>ト</sup> (27,409頭)	16,092百万円	6,412ト <sup>ト</sup> (26,563頭)	15,155百万円
対前年比	99.8% (97.9%)	102.8%	106.6% (103.2%)	106.2%	105.3% (105.6%)	111.9%	

※統計については項目別四捨五入のため、合計と明細で端数が一致しないことがある。

# 青果・花き 取扱数量（暦年）

（本場+東部市場）

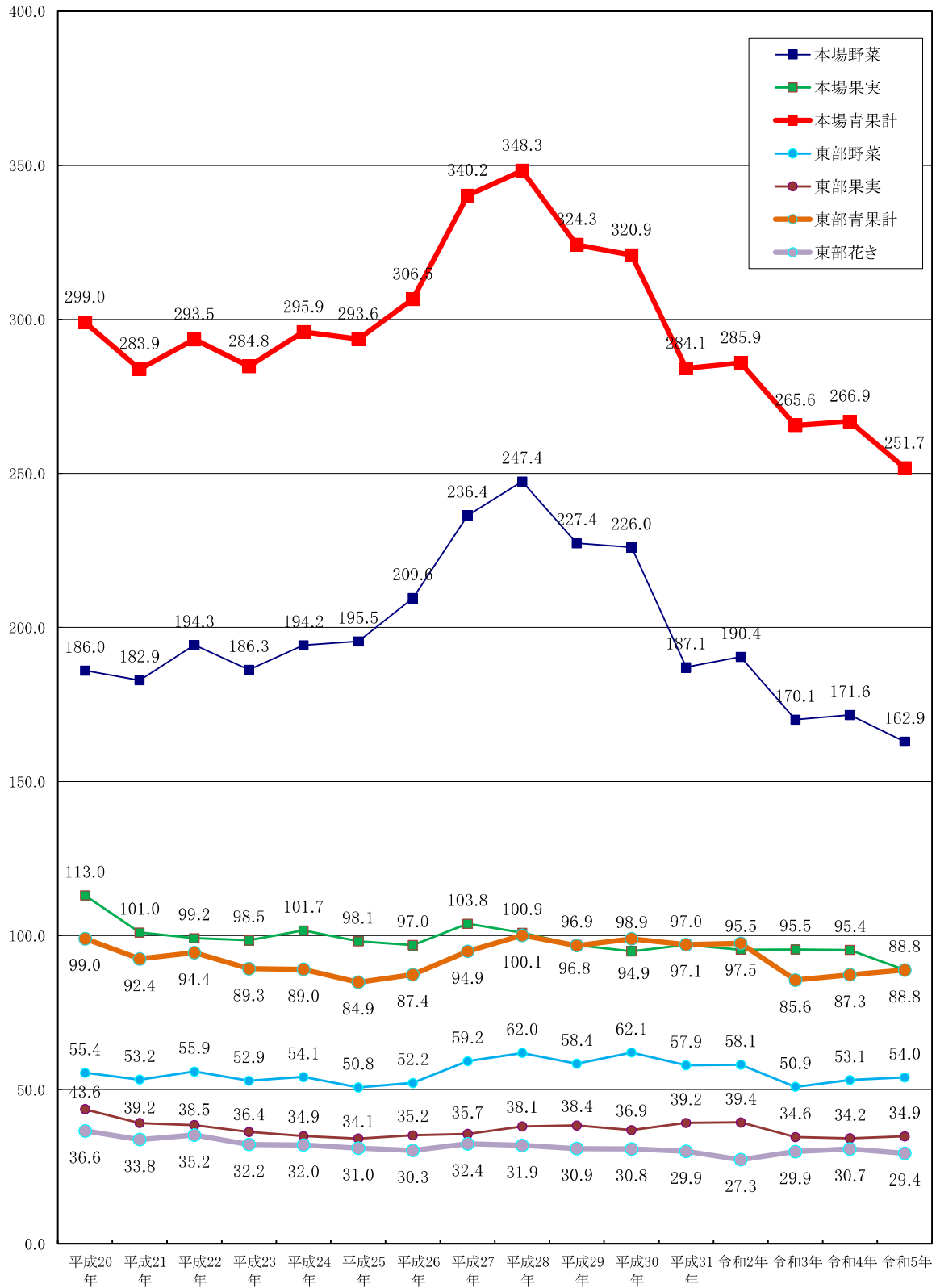
取扱数量  
単位:千トン  
花き:百万本



# 青果・花き 取扱金額（暦年）

（本場+東部市場）

取扱金額  
（単位：億円）

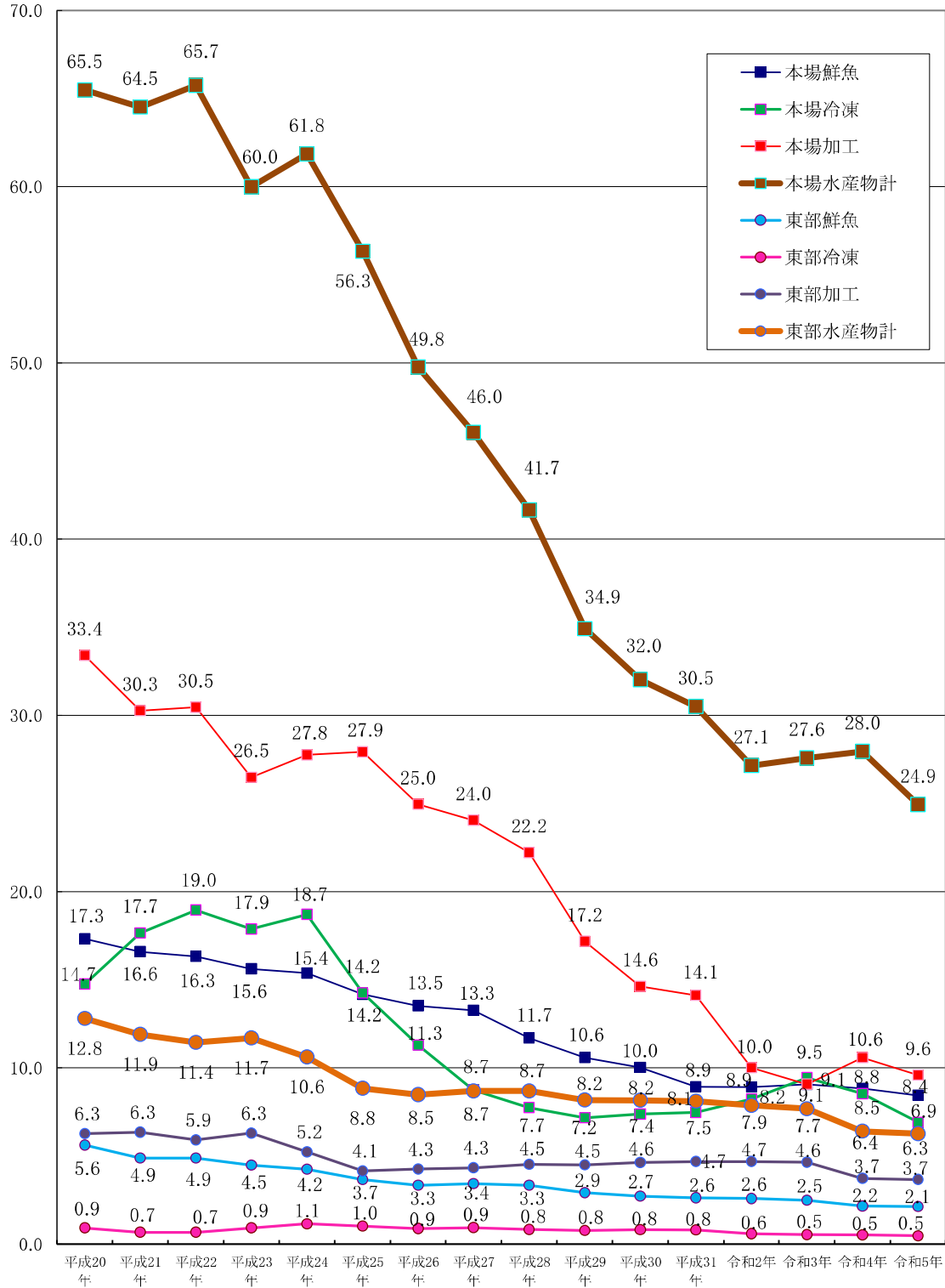




# 水産物 取扱数量 (暦年)

取扱数量  
(単位:千トン)

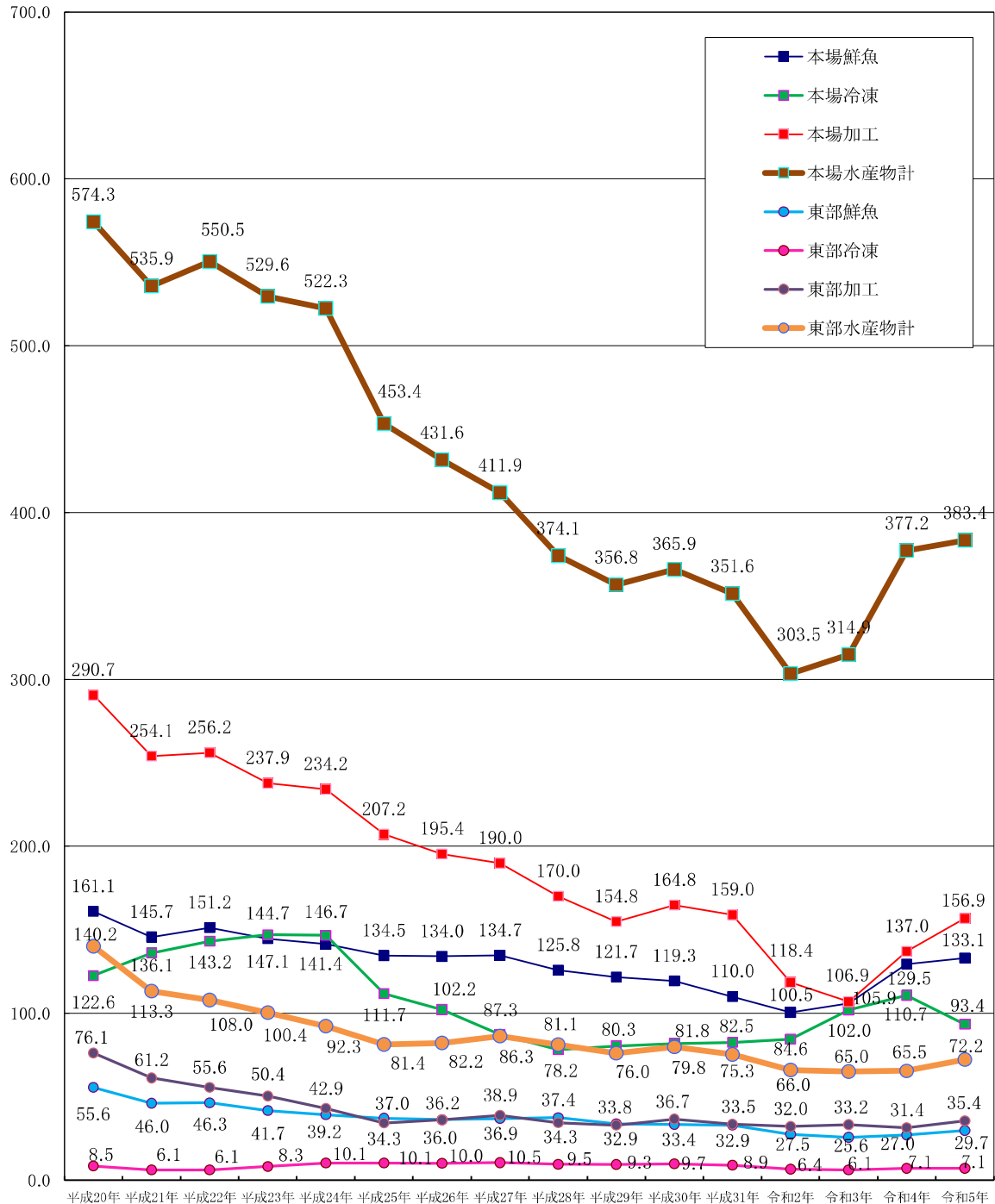
(本場+東部市場)

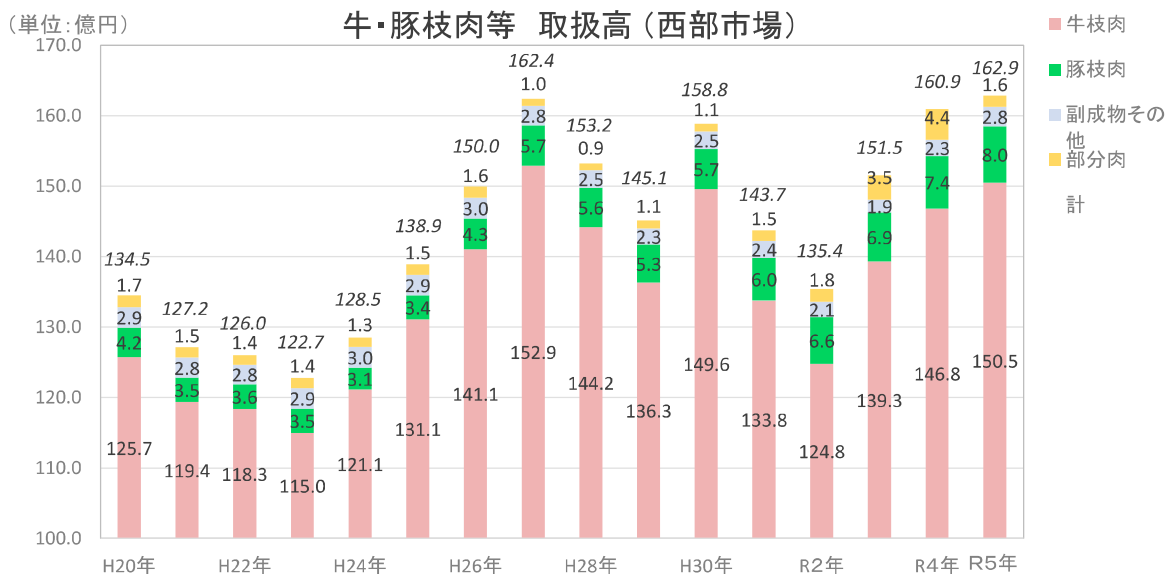
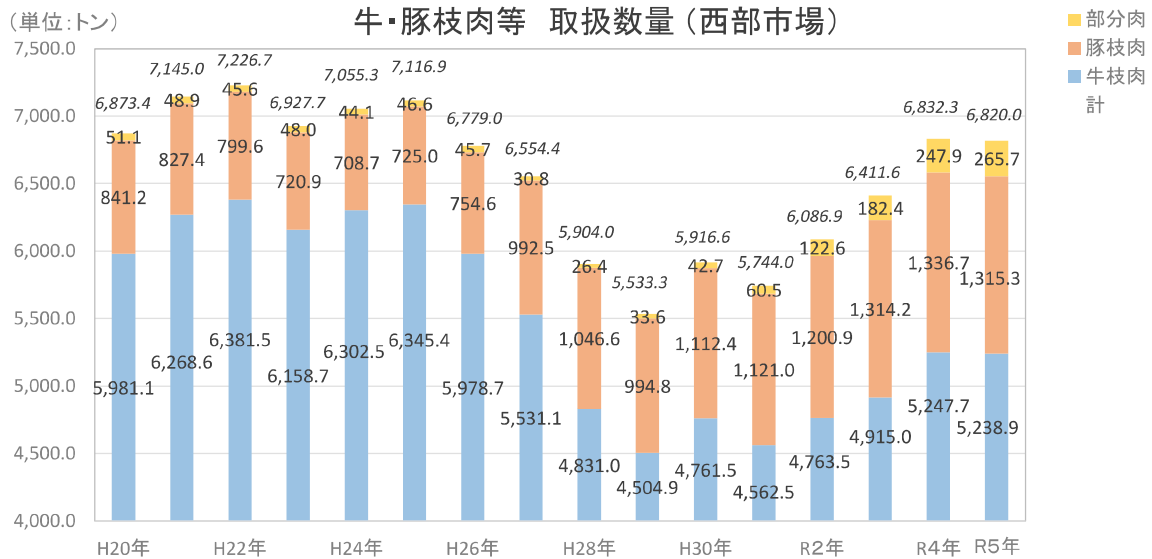
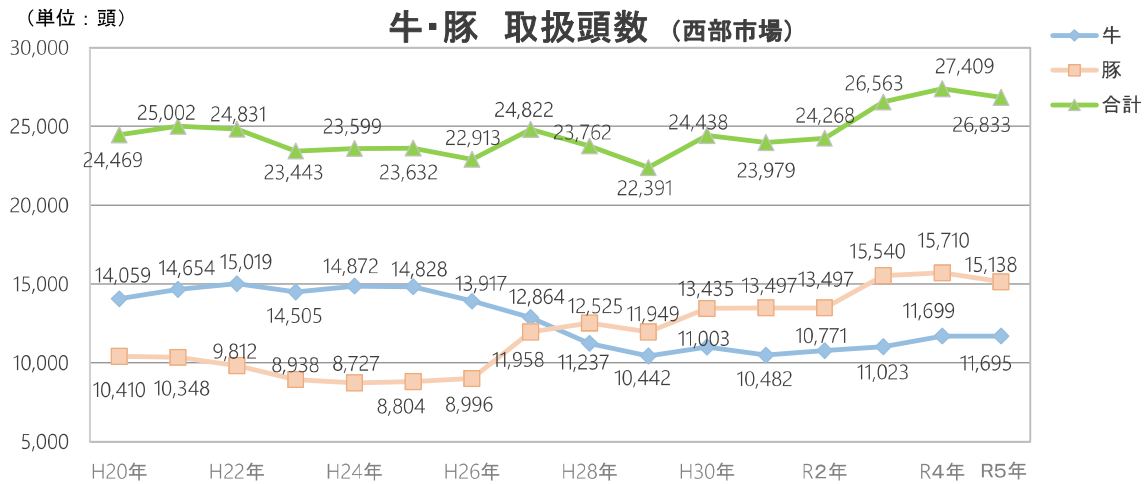


# 水産物 取扱金額（暦年）

## （本場+東部市場）

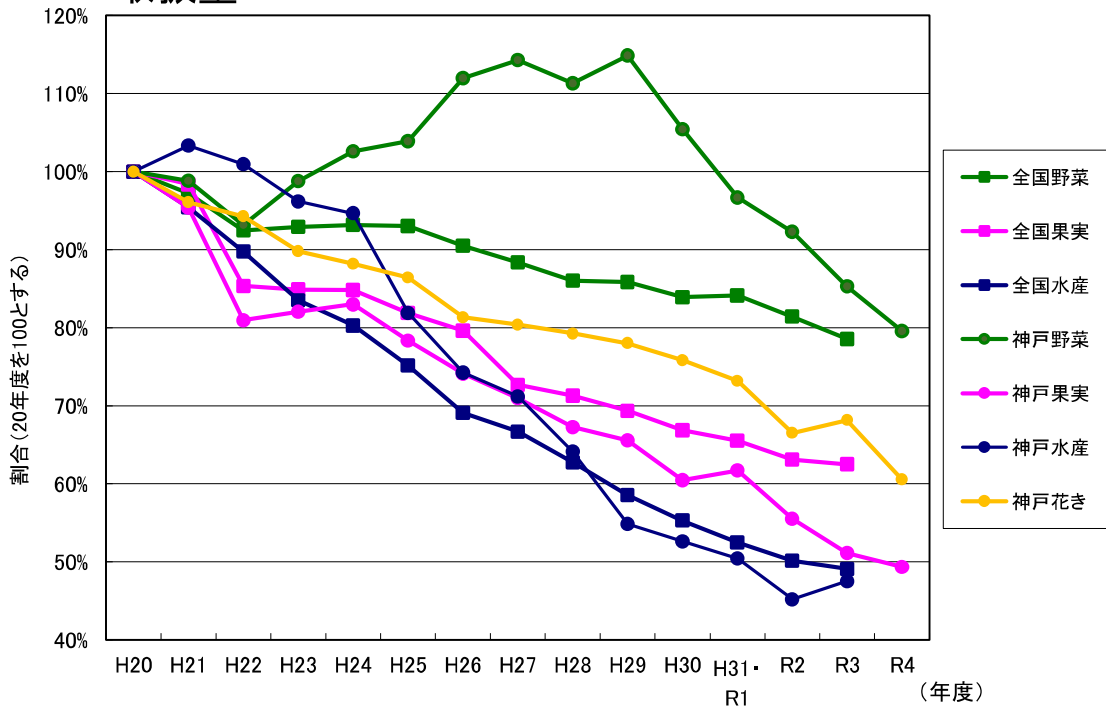
取扱金額  
（単位：億円）



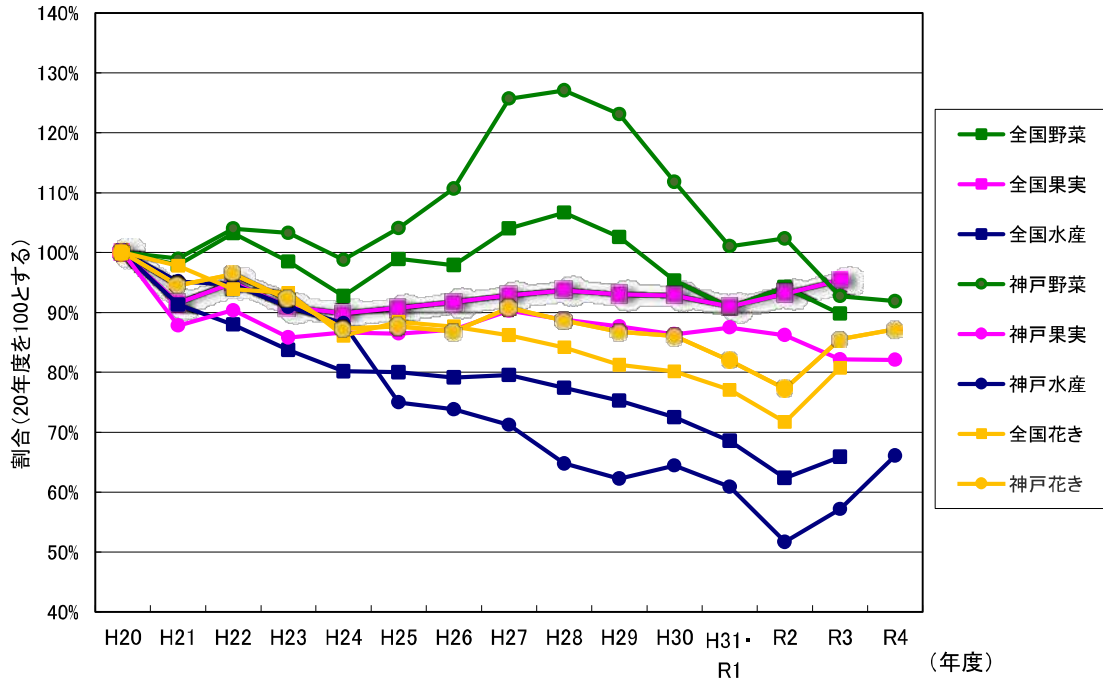


## 全国－神戸市(中央卸売市場)の比較 (青果・水産・花き)

### 取扱量



### 取扱高

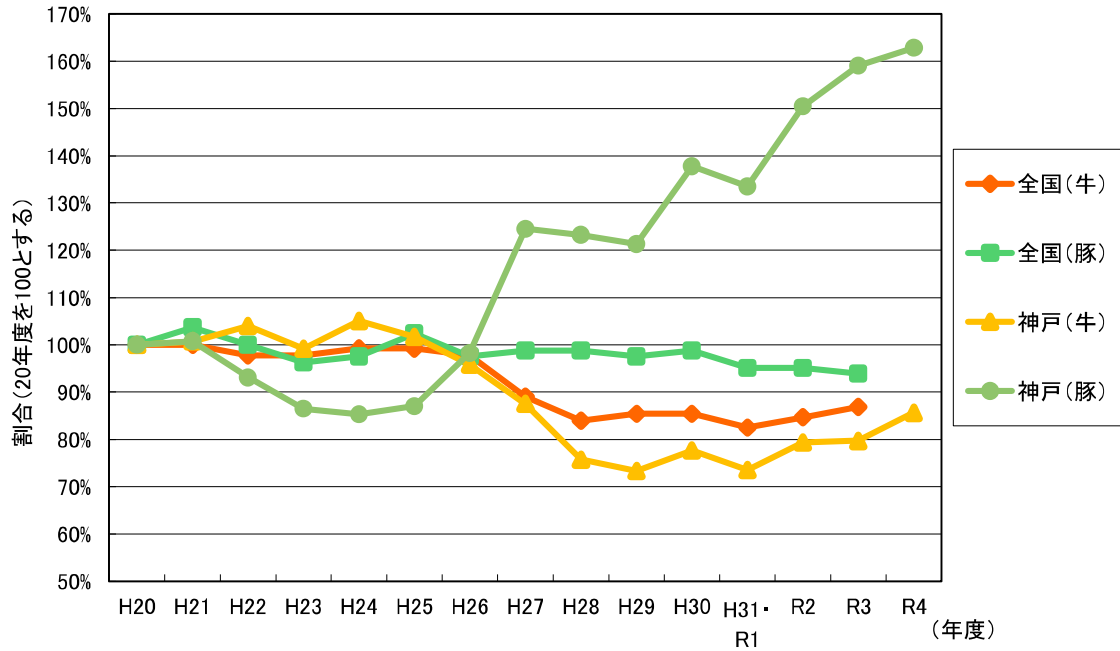


※2つの表とも、全国の数値は、全国の中央卸売市場の取り扱い合計であり、令和4年度の数値は、データが発表されていないため未掲載  
また、上の表(取扱量)「全国花き」はデータが無いため未掲載

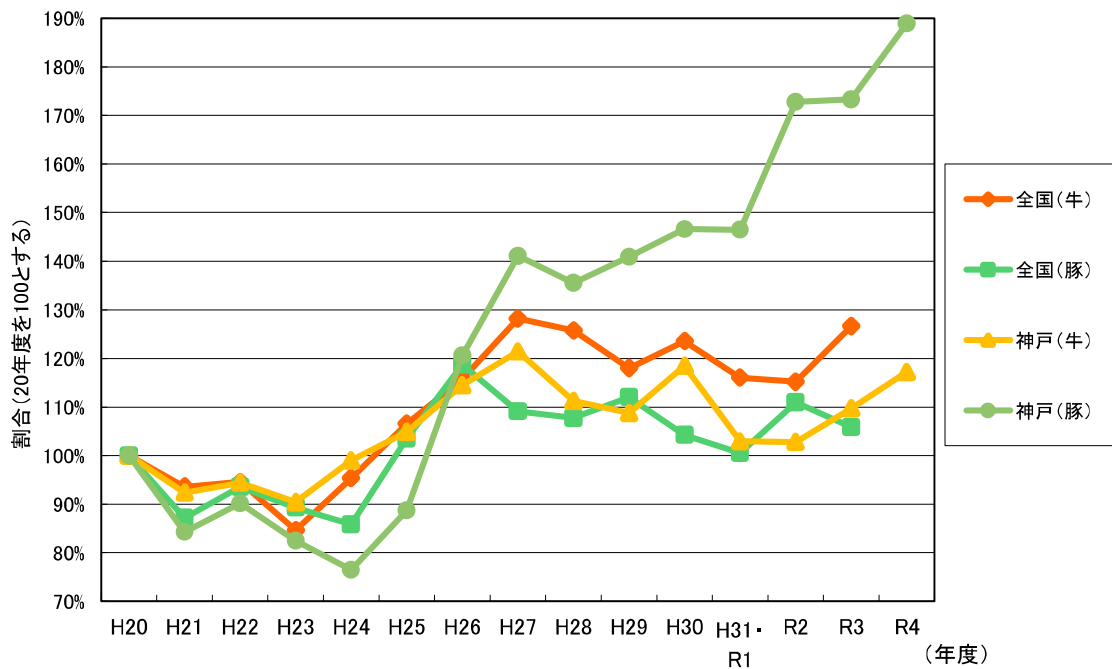
※神戸の数値は、神戸本場・東部市場の取り扱い合計である。

## 全国－神戸市(中央卸売市場)の比較 (食肉)

### 取扱量



### 取扱高



※ 2つの表とも、全国の数値については全国の中央卸売市場取り扱いの合計  
 なお、令和4年度の数値は、データが発表されていないため未掲載

# 神戸市中央卸売市場本場 新たな本場の目標について

令和 6 年（2024年）3月 19日  
神戸市経済観光局 中央卸売市場運営本部本場



## 過去の市場目標

---

○これまでの経営計画における本場の目標（目指すべき将来像）

### 『スピードと実行力のある市場』

○目標を実行するための基本戦略

- （1）流通機能の強化
- （2）品質・衛生管理の強化
- （3）管理・運営体制の再構築
- （4）市民に開かれた市場づくり

2013年度（平成25年度）から2017年度（平成29年度）まで実施

以降、2022年度（令和4年度）まで継続実施

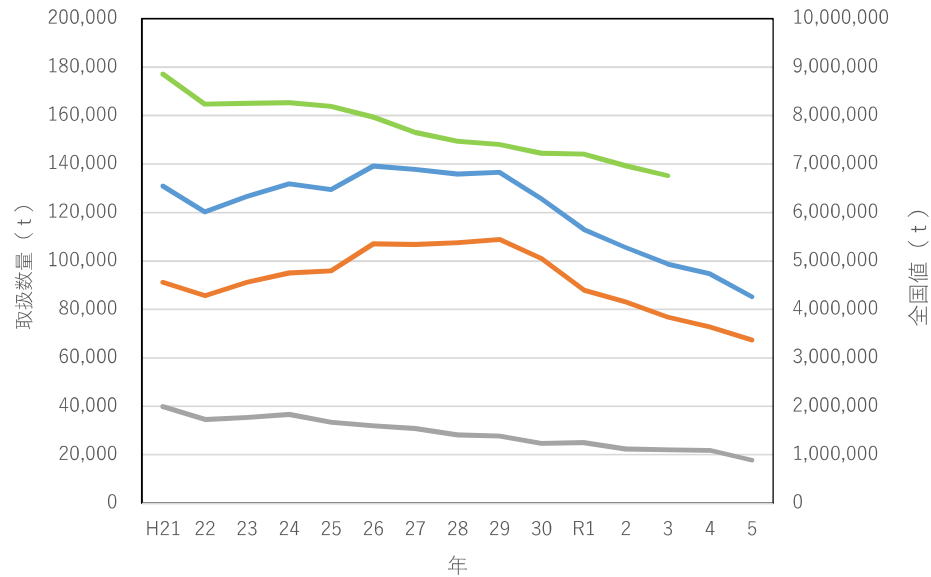
今後は『市場関係者が一体となり、目標に向かって取り組んでいけるような  
中短期の目標』を設定する

# 新たな本場の目標

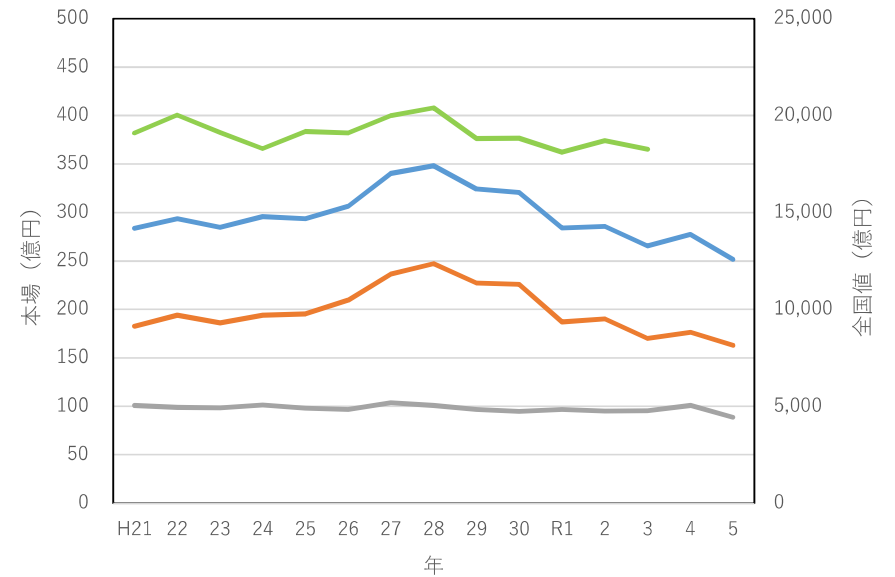
## ○市場、本場が抱える課題

### ・取扱量の減少

青果 取扱数量推移



青果 取扱金額推移



— 総計 — 野菜 — 果実 — 全国値

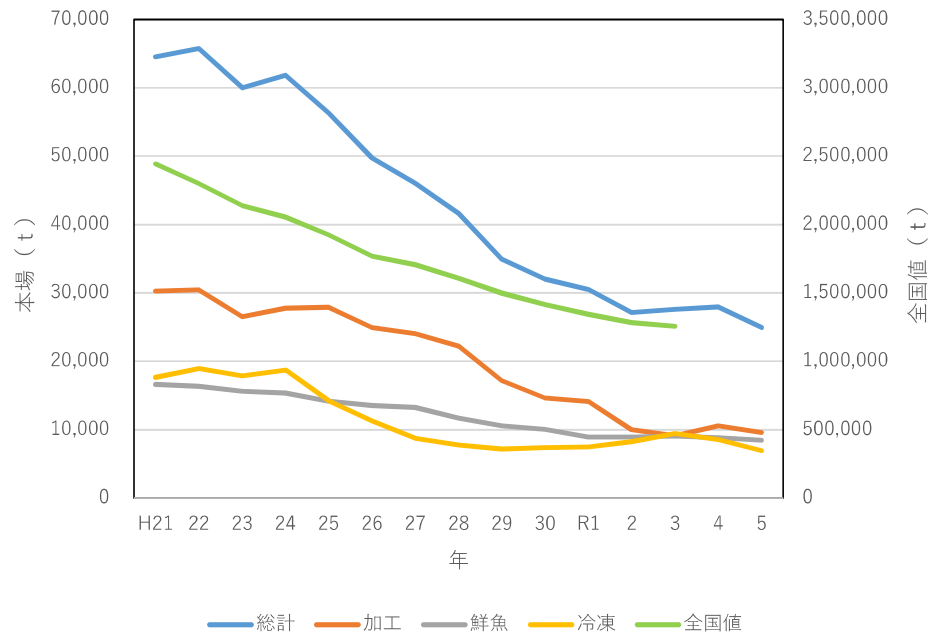
— 総計 — 野菜 — 果実 — 全国値



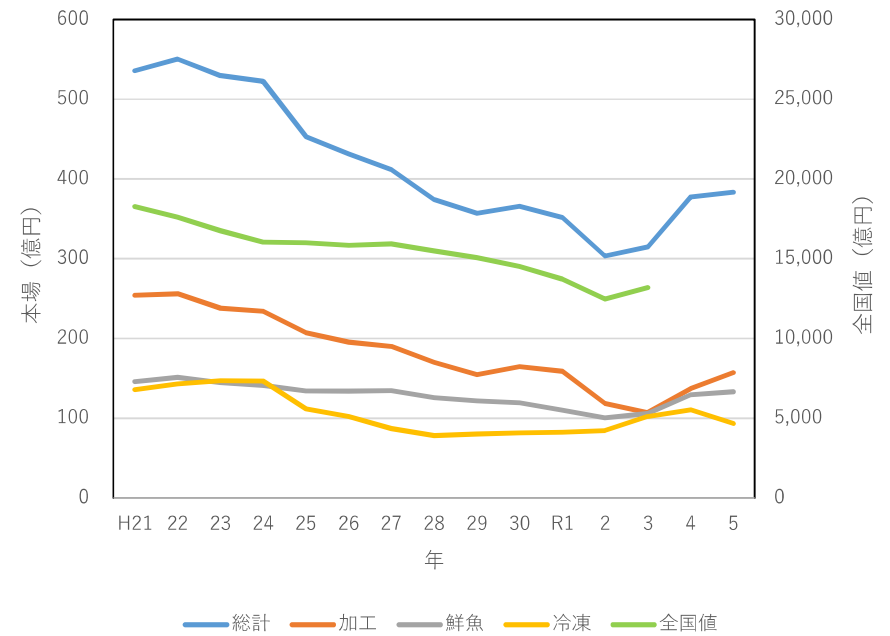


# 新たな本場の目標

水産部 取扱数量推移



水産部 取扱金額推移



⇒市民の台所としての存在を示す必要がある

⇒安心出来る生鮮物を適正な価格で安定供給する使命がある



# 新たな本場の目標

---

## ○市場、本場が抱える課題

### ・ 2024年問題、輸送部門の人材不足による物流の課題

物流・運送業界の「2024年問題」

働き方改革関連法案により、ドライバーの労働時間に上限が課されることで生じる問題。

具体的には、ドライバーの時間外労働時間が年間960時間に制限されることにより、**一人当たりの走行距離が短くなり、長距離でもものが運べなくなる**ことが懸念されている。

⇒ 産地から「荷が届かない」「集荷できなくなる」恐れへの対応



# 新たな本場の目標

---

## ○市場、本場が抱える課題

- ・ 将来を見据えた機能強化がもとめられている（厳しくなる市場間競争）

卸売市場としての課題に対する機能強化の必要性

- ・ 自動車運転業務における時間外労働時間の上限規制（2024年問題）
- ・ 鮮度、安全性への関心の高まり
- ・ 生活様式の変化に伴う消費者ニーズの変化

本場独自の課題に対する機能強化の必要性

- ・ 東西分断の解消

⇒再整備の推進



# ※再整備計画及びスケジュール

- 埋立地(約2ha R3年度末竣工)
- ①冷蔵庫(移転新設)
    - ・容量：約9,400t
    - ・面積：約17,600㎡
    - ・3階建
  - ②大規模加工場(新設)
    - ・面積：約1,200㎡
    - ・平屋建
  - ③買荷保管所(移転新設)
    - ・面積：約2,000㎡
    - ・平屋建
- 【工事期間】  
・R6～R9

- 卸売場棟(水産部 S58年度築)
- ①塩干卸売場改修
    - ・低温売場の拡充(機能強化)
  - 【工事期間】  
・R4
  - ②鮮魚卸売場改修
    - ・低温売場の拡充(機能強化)
  - 【工事期間】  
・R8

- 仲卸売場棟(水産部 S60年度築)
- ・店舗区画を集約し、仕分け・積込場所を確保
  - ・低温売場化及びコールドチェーン化への対応(機能強化)
  - ・アスベスト対策
- 【工事期間】  
・R7～R8

- 再整備の基本方針・方向性
- ・冷蔵庫・買荷保管所の移転による作業効率上昇と鮮度・品質保持
  - ・加工ニーズの増加に対応する大規模加工場の新設
  - ・卸売場・仲卸売場等既存施設の改修と低温売場化等の機能強化
  - ・車両動線のルート確保とルールの適正化による場内物流の効率化



- 仲卸売場棟(青果部 S60年度築)
- <今後の検討事項>
- ・保管・積込場所の確保
  - ・品質管理された物流システムの構築
  - ・アスベスト対策
- 【工事期間】  
・R8～R9

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
埋立て手続き	■								
埋立て工事		■	■	■					
施設建設工事(埋立地)						■	■	■	■
既存施設改修工事				■	■	■	■	■	■

## 新たな本場の目標

---

### ○これからの新たな目標について

卸売市場においては、2024年問題をはじめとする流通構造の変化による**リスクに直面**している。その中で本場は、交通アクセスの利便性や荷下ろし時間の大幅な短縮をアピールし、**産地から選ばれる市場**を目指す必要がある。また、2025年の神戸空港国際化により、**新たな仕入れ先の開拓や国内外の販売経路が広がる可能性**を秘めている。

さらに今後も、本場が**拠点市場としてあり続け、市民の食を支えていく**ことが求められている。



# 新たな本場の目標

---

そこで本場では、次の目標を掲げた

○本場の目標（案）

**『流通構造の変化に伴うリスクをチャンスに変え、新たな販売  
経路の開拓を目指し、市民の食を支える拠点市場』**

○目標を達成するための実施項目

- （1）流通機能のさらなる強化
- （2）品質・衛生管理の徹底
- （3）市民向け市場情報の発信
- （4）SDGsに関する取組の推進



## (1) 流通機能のさらなる強化

### 1) 2024年問題への対応

- ① 効率的な場内動線を確保し、待機時間や荷下ろし時間の短縮化などを図り、利便性をアピール
- ② リスクをチャンスに変え、他市場との差別化を

### 2) 神戸空港国際化に向けて

- ① 国際化に向けた動向を注視し情報を共有
- ② 本場との交通利便性をアピールし、新規販売経路の拡大へ

### 3) 活気ある市場へ

- ① 仲卸業者の新規参入の促進
- ② 買出人の新規開拓
- ③ 産地との良好な関係の維持

### 4) 場内事業者の経営健全化

- ① 経営についての勉強会を開催
- ② 人材育成（後継者問題等）
- ③ 公認会計士による財務状況の検査及び助言

### 5) 地産地消の推進

- ① 市場、地元産地の連携強化
- ② 「こうべ旬菜」を使った魚果菜塾の開催

## (2) 品質・衛生管理の徹底

### 1) 品質管理の徹底

- ① コールドチェーン化の検討
- ② 埋立地への施設新設の推進

### 2) 衛生管理の徹底

- ① 食品衛生に関する場内事業者の意識改革
- ② 施設利用ルールの徹底遵守
- ③ HACCPの実施検証



### (3) 市民向け市場情報の発信

#### 1) 市場のPR

- ① SNSによる市民向けの情報発信
- ② 市場見学会の充実
- ③ 市場祭りや魚河岸デーなどのイベントによる市場開放

#### 2) 食育教室の開催

- ① こべっこランドとの共催で食育教室を開催
- ② 小・中学校への出張料理教室
  - ※神戸っ子お魚教室プログラムの実施
  - ※フルーツルネッサンス21による出前講座

### (4) SDGsに関する取組の推進

#### 1) 働きがいも経済成長も

- ① 労働基準法の遵守、安心・安全な働ける職場づくり
- ② 市場を活性化し、働きがいのある職場を

#### 2) 気候変動に具体的な対策を

- ① BCPのブラッシュアップ
- ② 高潮対策
- ③ 計画的で適切な施設維持

#### 3) エネルギーをみんなに そしてクリーンに

- ① 生ごみ等の廃棄物削減
- ② 資源ごみの分別・回収の徹底





# 今後の進め方

---

## ○目標実施期間

2024年度（令和6年度）から2027年度（令和9年度）までの4か年

## ○今後の進め方

PDCA（Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（対策・改善））により進めていく。

Plan ⇒具体的な実施内容を場内事業者と協議

Do ⇒実施内容を進めていく

Check ⇒専門部会（2月）にて実施内容の評価

Action ⇒評価を受けて対策、改善し、必要に応じ実施内容の見直しを行う以降、各年度上記を繰り返していく。



**神戸市中央卸売市場東部市場**

# **経営展望計画**

**(2024-2028)**

**2024年3月**

**神戸市中央卸売市場東部市場**

# 1. はじめに

---

## (1) 経営展望計画とは

卸売市場を取り巻く環境は、少子高齢化・人口減少の進展等による消費の変化、消費者ニーズの多様化、農林水産物の生産・流通構造の変化など、依然厳しい状況が続いています。また、2024年4月トラックドライバーの時間外労働の上限規制と改正改善基準の適用されることによる物流問題など、経営環境の変化にも対応が求められています。

このような状況の中でも、東部市場は、生鮮食品の安定供給を担うインフラとしての役割を果たせるように、産地や実需者などから選ばれる市場として維持・発展していくため、東部市場の取引実態に応じて課題を捉え、東部市場のポテンシャルを最大限に活かせるように、市場全体が一体感をもって取り組むことが大切です。

東部市場の市場内関係者が共通の課題意識を持ち、市場全体を最適化した取り組みを行うため、「神戸市中央卸売市場東部市場経営展望計画（2024—2028）」（以下「本計画」という。）を策定します。

## (2) 経営展望計画の策定手順

経営展望計画の策定経緯と策定手順は、以下のとおりです。

本計画の計画期間は、令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）の5年間とし、定期的に計画の進捗状況の確認及びその効果の検証を行うこととします。

### ○ 経営展望計画の策定の経緯

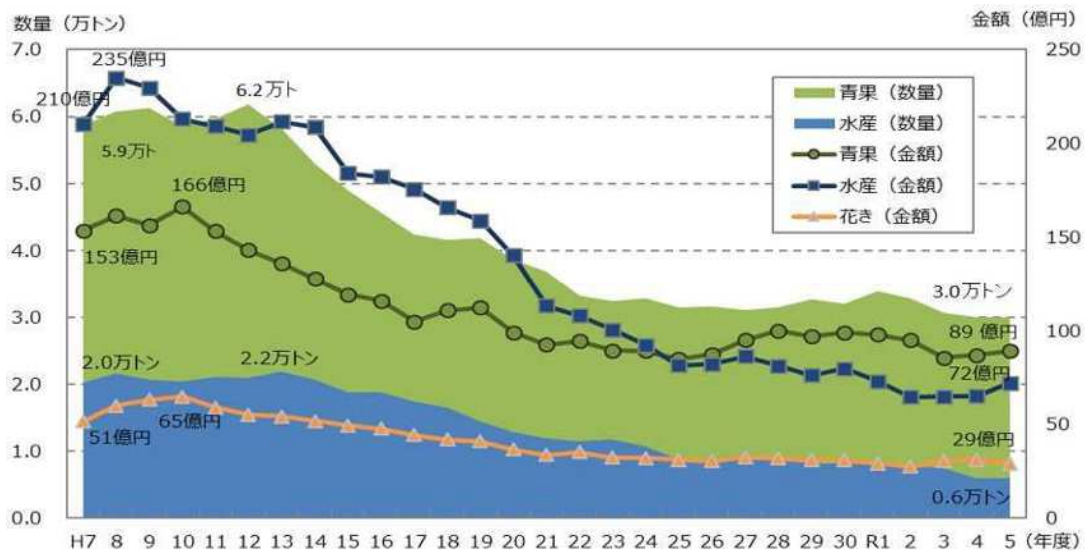
- R5年 4月 神戸市中央卸売市場業務運営協議会で計画策定の方針決定
- R5年 11月 東部市場現場取引委員会で計画策定方法の検討と意見聴取
- R5年 12月 場内事業者アンケートで意見聴取
- R6年 2月 現場取引委員会とアンケートの意見聴取に基づき  
開設者が経営展望計画の素案を策定
- R6年 3月 東部市場専門部会で経営展望計画の検討及び策定

## 2. 東部市場の市場運営状況

### (1) 取扱数量・金額

東部市場の取扱数量は、青果・水産物ともに減少傾向にあります。近年の取扱数量は現状を維持しています。東部市場の近年の取扱金額は、青果・水産物・花きともに近年、横ばい状態です。

東部市場の取扱数量・取扱金額の推移

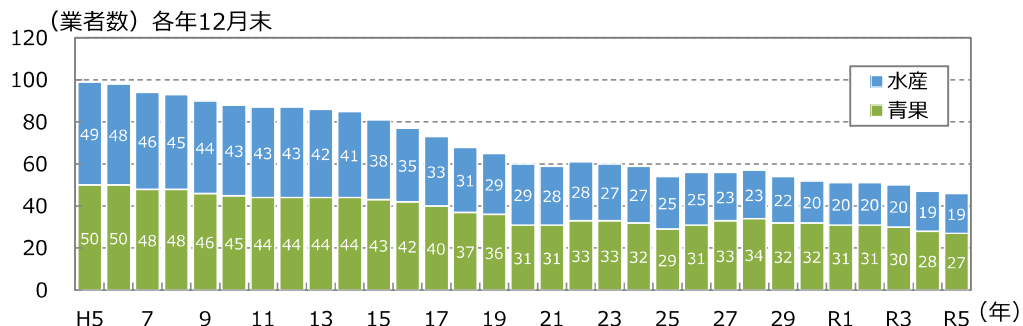


### (2) 場内事業者

東部市場の卸売業者は、青果部 1 社(神戸中央青果株)、水産物部 2 社(株大水神戸東部支社、神港魚類株東部支社)、花き部 1 社(株JF 兵庫県生花)、仲卸業者は青果部 27 社、水産物部 19 社、花き部 3 社となっています(いずれも 2024 年 3 月時点)。

青果部の仲卸業者数は、2010 年代(平成 22 年～平成 28 年)に微増したものの、水産物部・青果部ともに仲卸業者数は漸減傾向にあります。

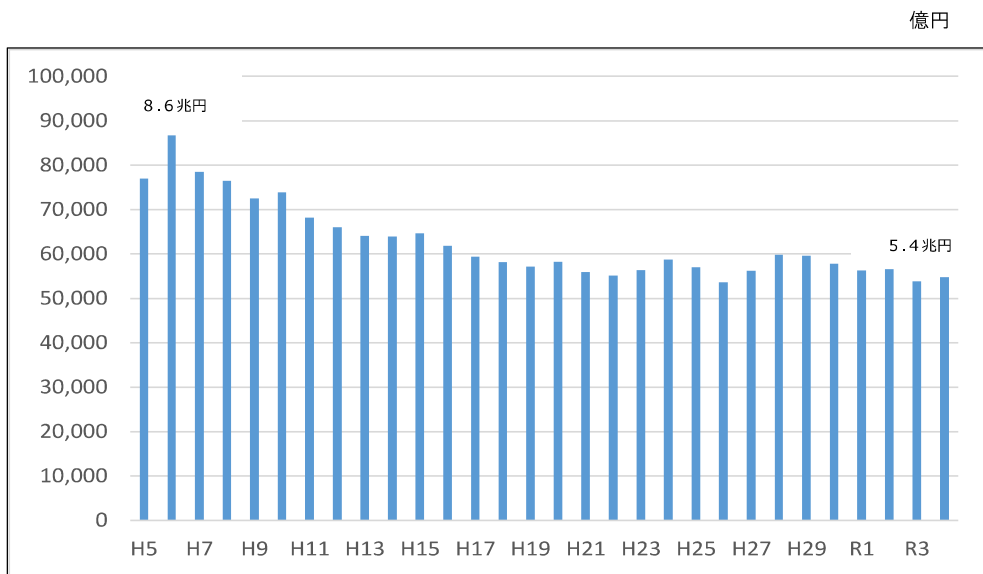
東部市場仲卸業者数の推移 (青果部・水産物部)



### 3. 東部市場を取り巻く状況の変化

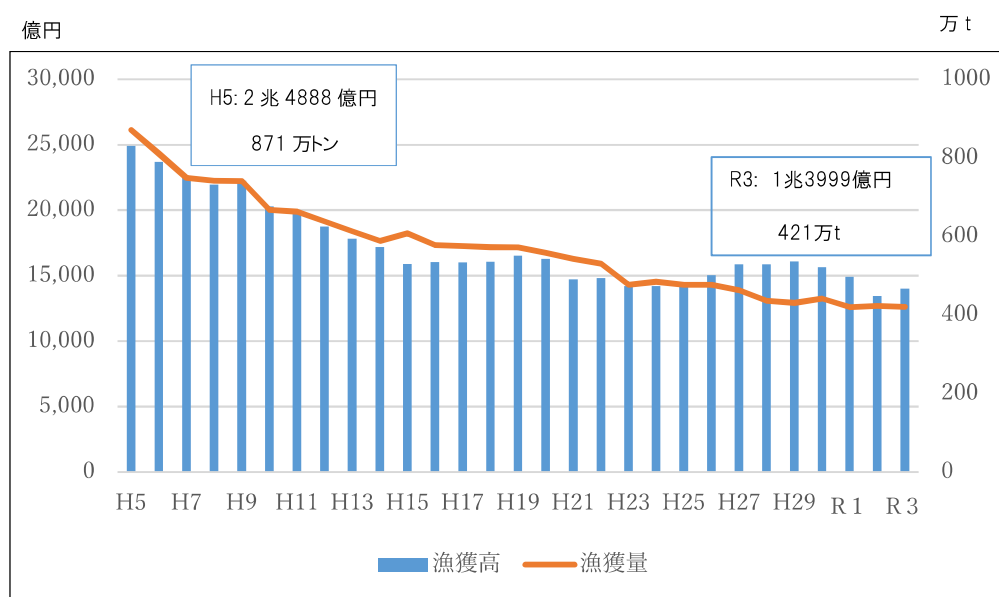
#### (1) 全国的な環境評価

##### ・農業総産出額の推移（耕種農家）



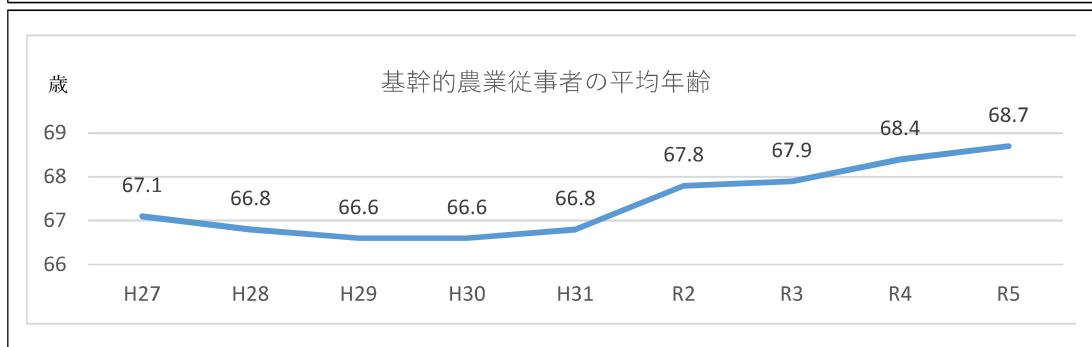
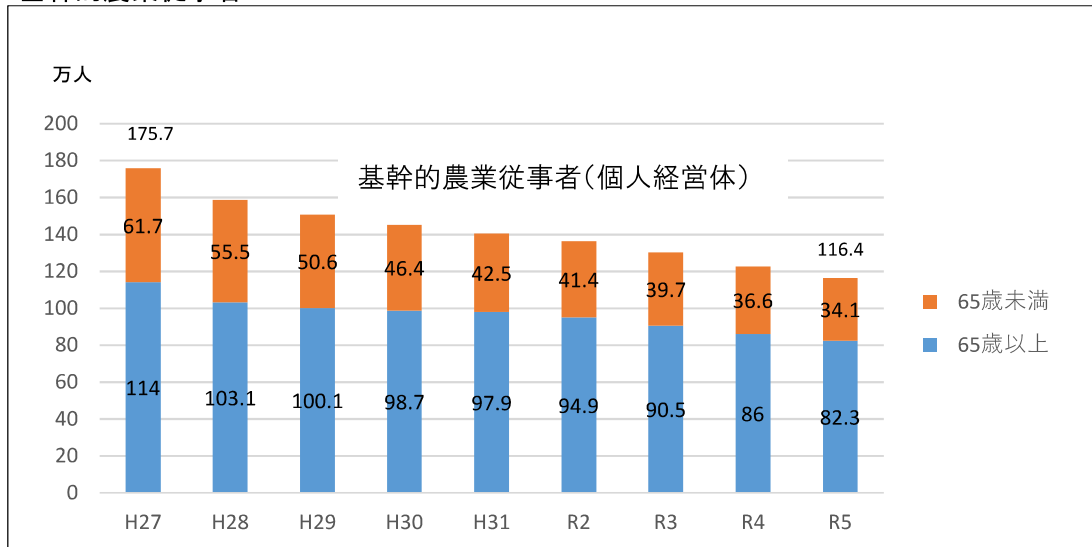
資料：令和4年農業産出額及び生産農業所得（全国）」（農林水産省）

##### ・漁獲量・漁獲高の推移



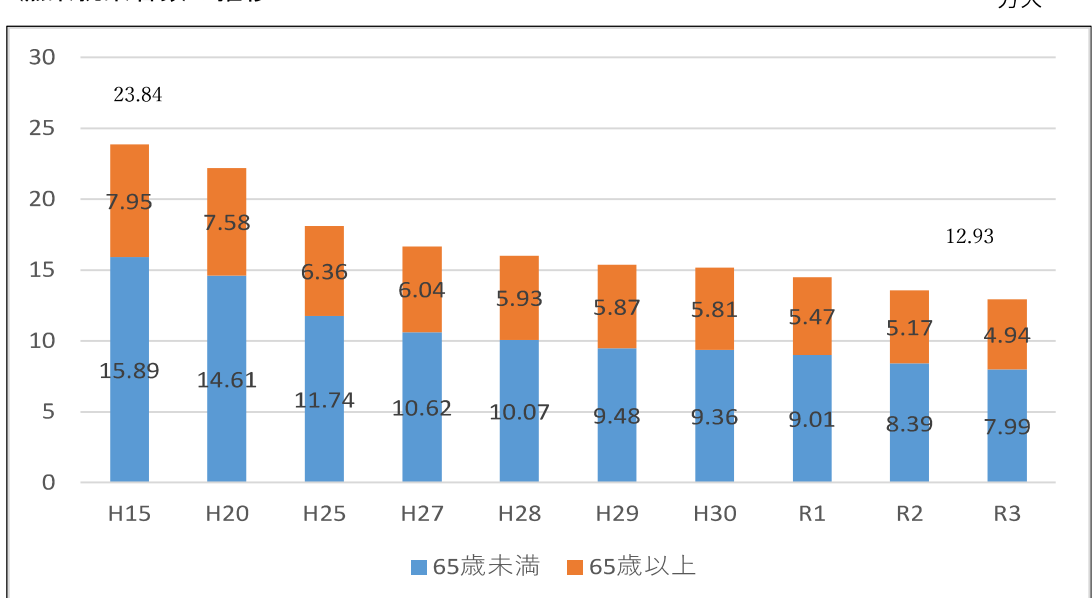
資料：資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計

・ 基幹的農業従事者



資料：農林業センサス、農業構造動態調査（農林水産省統計部）

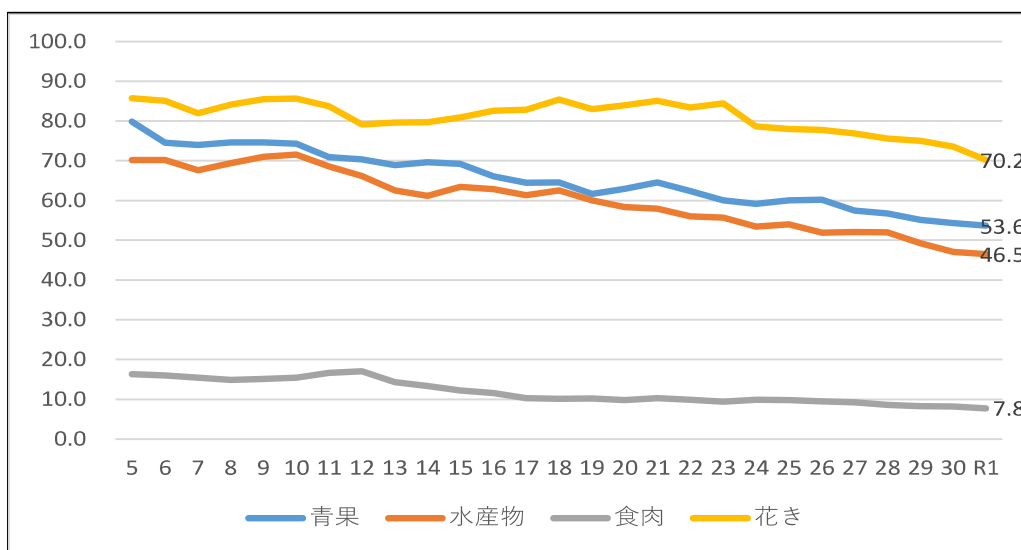
・ 漁業就業者数の推移



資料：農林業センサス、農業構造動態調査（農林水産省統計部）

・市場経由率

%



資料：農林水産省「食料需給表」、「青果物卸売市場調査報告」等により推計

・インボイス制度（適格請求書保存方式）

2023年10月1日から消費税の複数税率に対応したものとして開始された仕入税額控除の方式。仕入れ税額控除の適用を受けるためには、帳簿のほか、売り手から交付を受けたインボイス制度の方式に合う「適格請求書」等の保存が必要となった。

・2024年トラック問題

2024年4月から、働き方改革関連法が施行されると、トラックドライバーの労働時間が制限されることで輸送能力が不足し、「モノが運べなくなる」可能性が懸念されている。

・DXとは

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

・資源エネルギー高騰

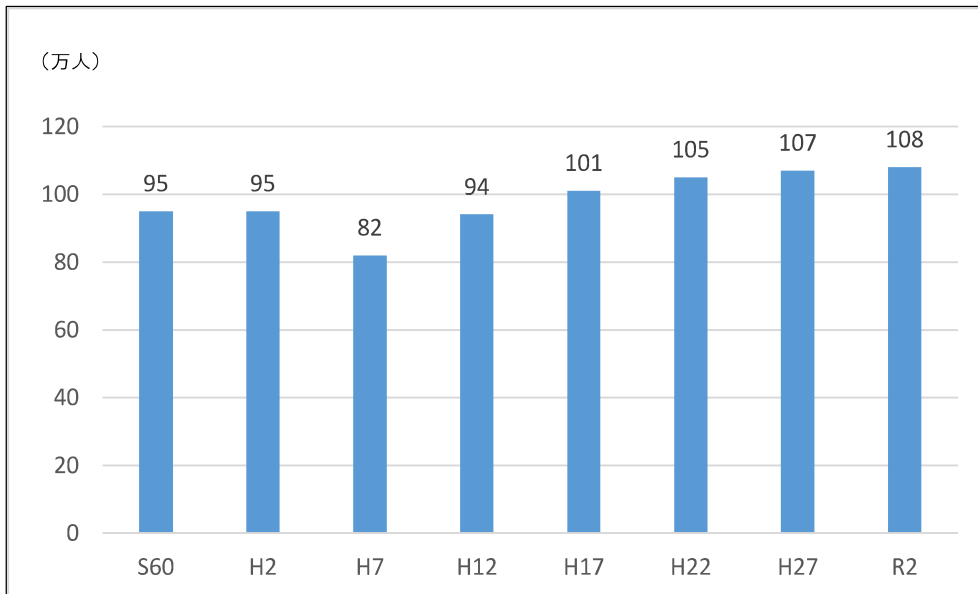
2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナへの侵略を契機に、エネルギーを取り巻く情勢は大きく変化し、特にエネルギーの安定供給やエネルギーコストの面で、大きな影響を与えた。こうしたエネルギー情勢の変化は、短期的なエネルギーの需給ひっ迫や価格高騰を引き起こしただけでなく、中長期的にエネルギー市場への影響を及ぼすことが予想されている。

## 2) 東部市場近隣の環境評価

### ・主な商圏人口・世帯数の動向

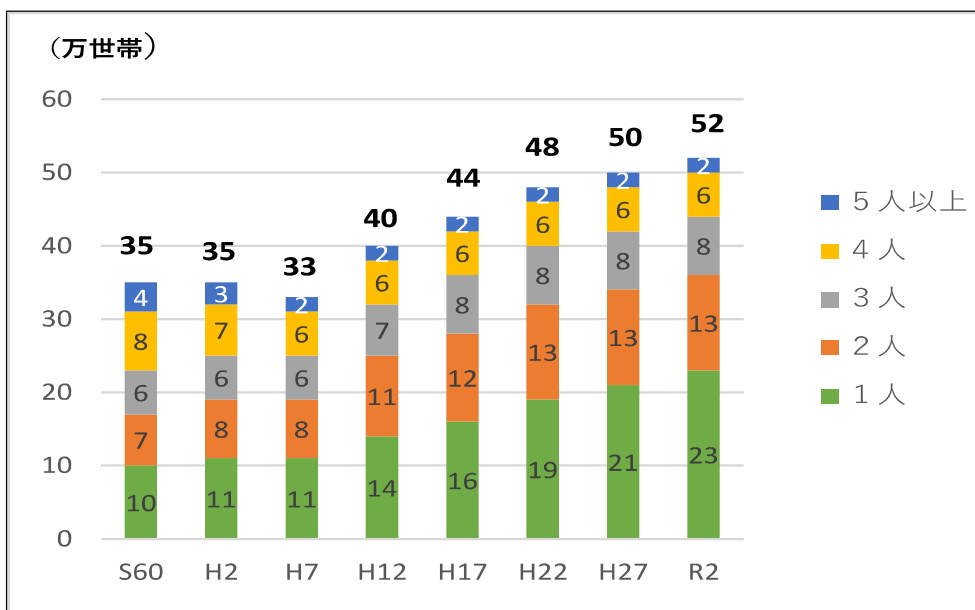
全国的には人口減少の進展が見込まれているなか、東部市場の主要な商圏である東部市場近隣5区市（神戸市中央区・灘区・東灘区、西宮市、芦屋市）の人口は増加傾向にあります。

東部市場近隣5区市の人口推移



資料：国勢調査データ（総務省統計局）

東部市場近隣5区市の世帯数・世帯構造の推移

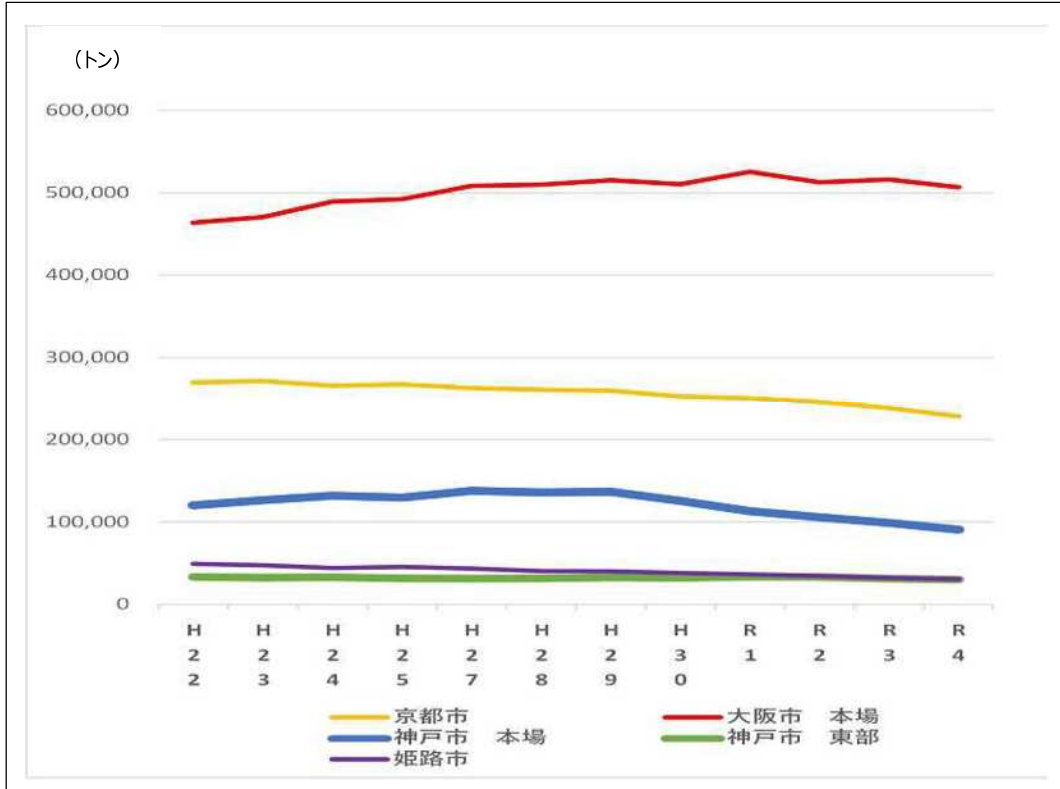


資料：国勢調査データ（総務省統計局）

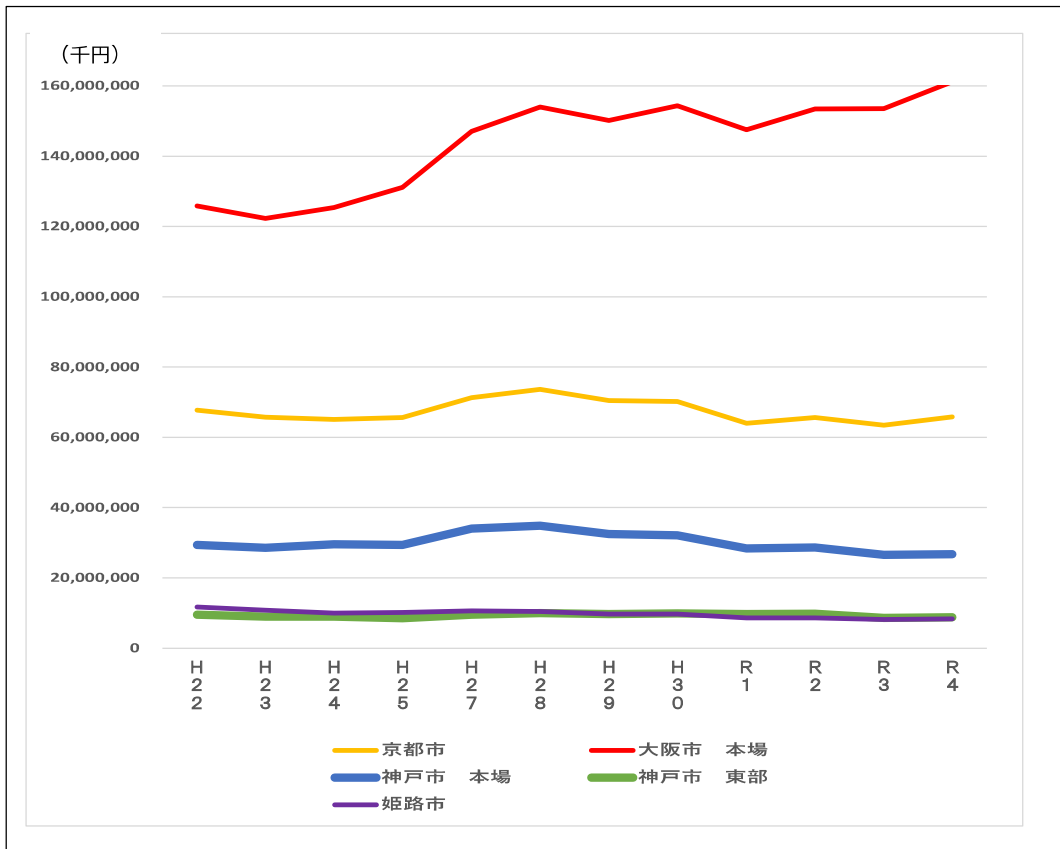


・近隣市場の取扱高推移

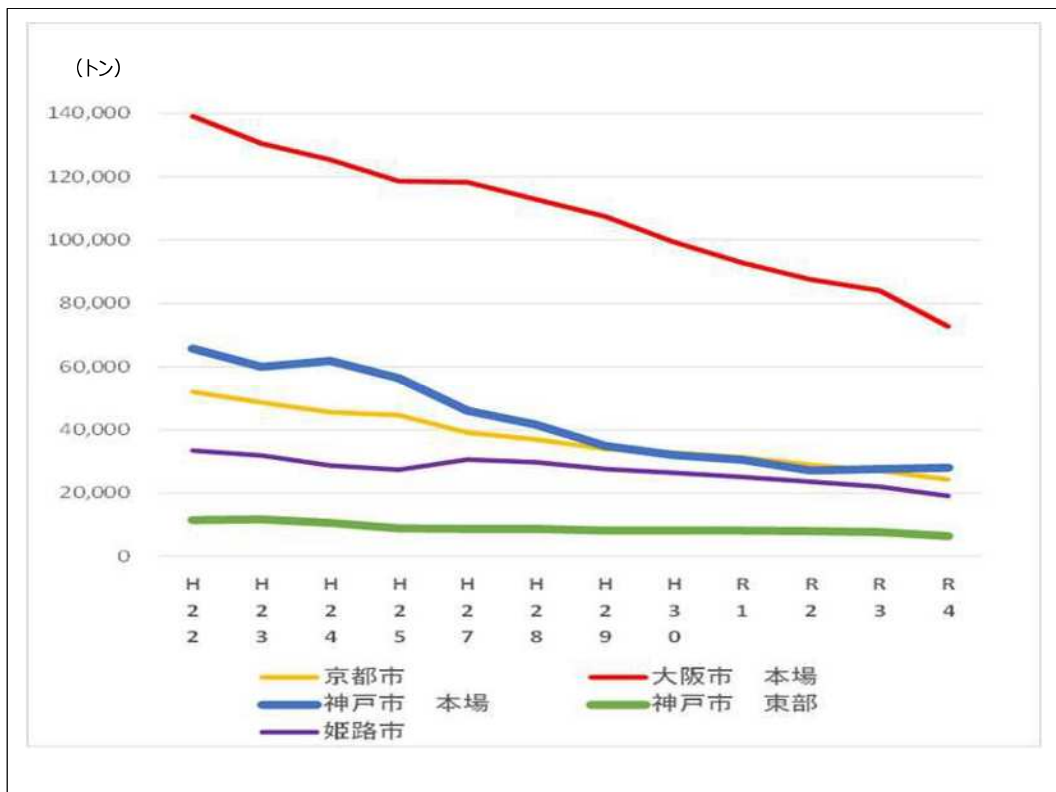
近隣市場 青果取扱量



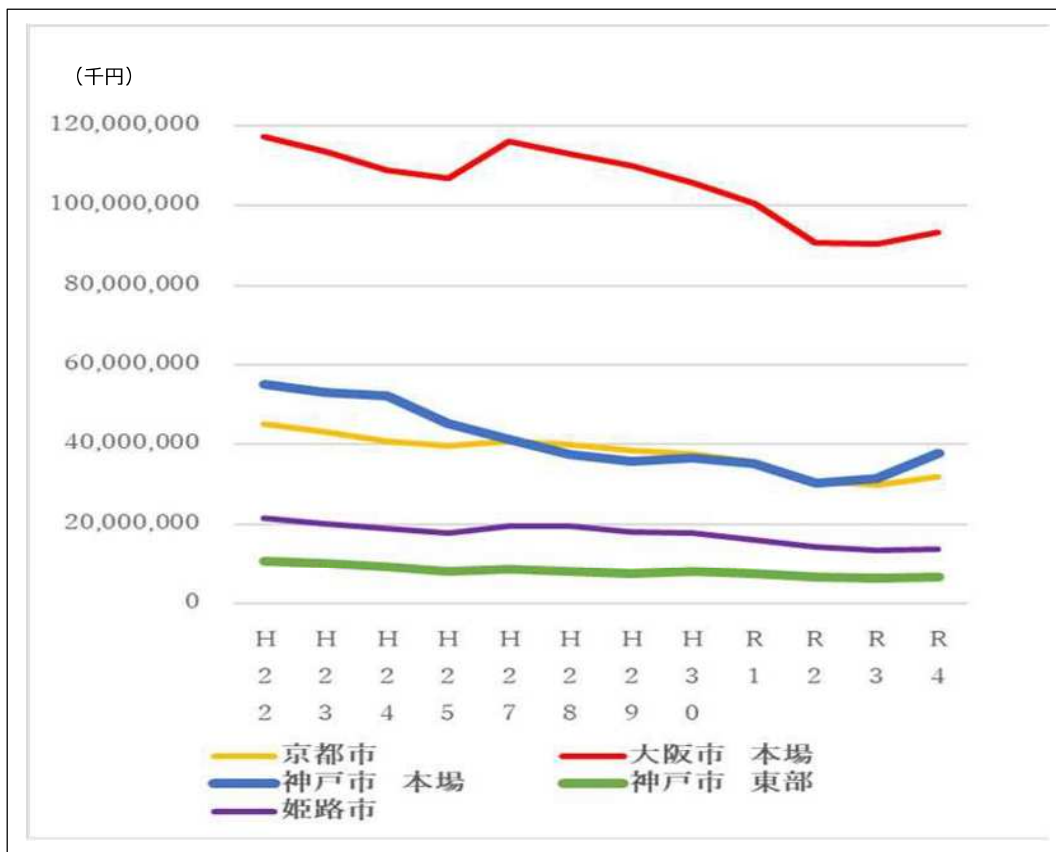
近隣市場 青果取扱高



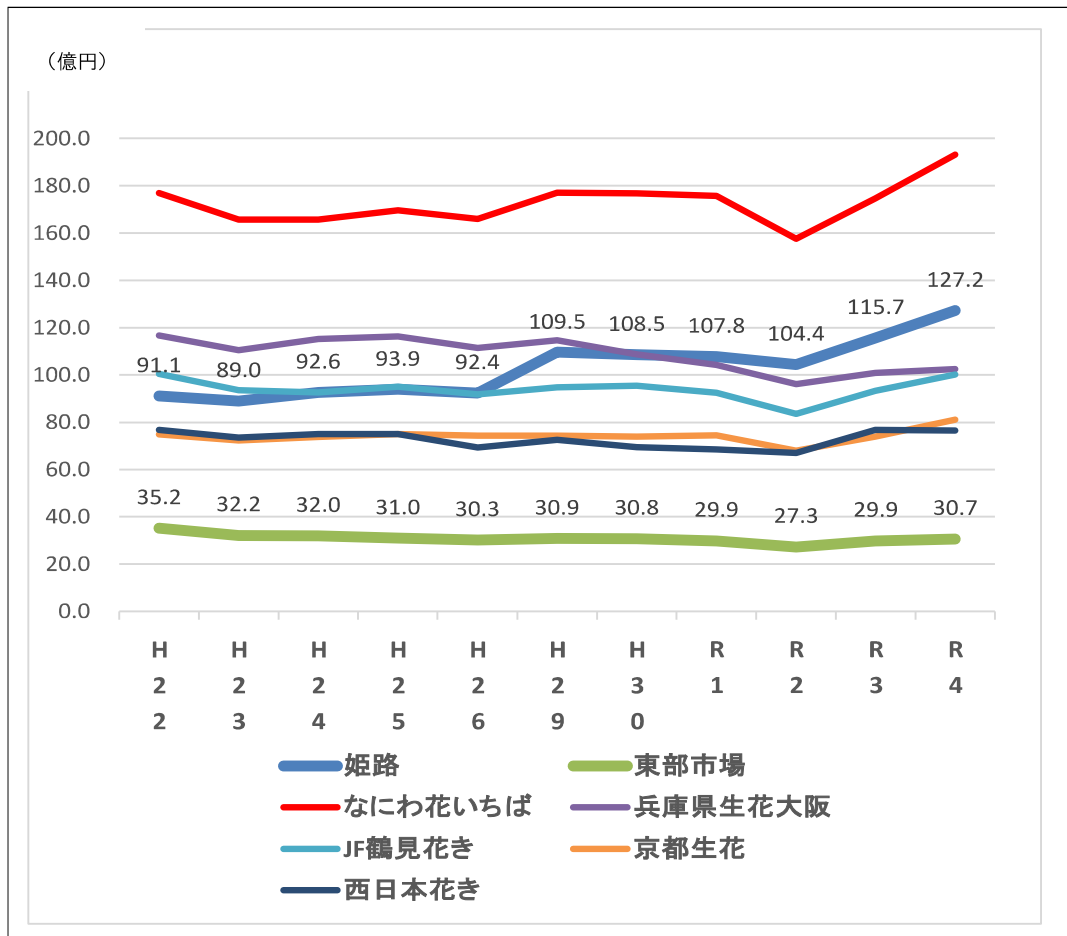
近隣市場 水産取扱量



近隣市場 水産取扱高



近隣市場 花き取扱高



資料：花卉園芸新聞より

・アクセスの優位性

阪神高速3号神戸線・5号湾岸線のインターチェンジから至近で、近隣の卸売市場とも流通の利便性が高い立地となっている。商圈の実需者のアクセスの利便性が高いことに加えて、産地からの物流に便利。

また、神戸空港国際化が予定されており、2025年に国際チャーター便の解禁、2030年前後には国際定期便が解禁されます。

3. 市場を取り巻く状況の変化 総括

外部環境は、刻々と変化しており、東部市場が競争優位にたち、将来にわたって生鮮食料品等の安定供給の実現と神戸の暮らしを彩るためには、東部市場の強みを活かし、産地や実需者から選ばれる市場運営が求められる。

## 4. 東部市場の経営環境及び重要取組課題

### ①東部市場の主な特徴・動向

- ・ 安定的な商圏・後背地（阪神地域）
- ・ 兵庫県内・近隣府県の魅力的な産地と近接性
- ・ 利便性の高い立地、物流中継点としてのポテンシャル
- ・ 青果・水産・花きの3部門の総合卸売市場
- ・ 地域と連携

＜これらより求められる取組＞

商圏との結びつき強化、特色ある集荷、需要に応じた集荷、物流中継点としての集荷力向上、部門間連携、産官学連携、地域連携

### ②東部市場の集荷・販売状況の動向

- ・ 産地の生産量減少および大型化の進行
- ・ 市場間競争の激化、大型市場への集中化
- ・ 消費者ニーズの変化（個食化、消費形態の変化等）
- ・ 安心・安全の要求の高まり
- ・ 輸出への期待

＜これらより求められる取組＞

出荷先として選ばれる市場化、特徴ある集荷、特徴ある取引、本場と協働した取組、産地支援、ブランド化、消費者ニーズの変化に対応、新たな実需者の獲得、付加価値の創出、食育・花育を通じた豊かな暮らしの貢献、衛生品質管理、コールドチェーンの確立、災害時対応、状況に応じた輸出対応

### 4. 東部市場の経営環境及び重要取組課題 総括

市場間競争がますます厳しさを増す中、東部市場は、コンパクトで機動性に優れており、利便性の高い立地を有する強みを活かし、市場全体が一体となり存在感を発揮していくことが求められます。市場全体を最適化する市場運営を行うために、東部市場のビジョンと基本戦略を設定する。

## 5. 東部市場の展望計画

---

<ビジョン>

### 産地や実需者から選ばれ続ける卸売市場に向けて

(前計画「経営展望計画 2017-2021」の総括を踏まえ新たに設定)

<ビジョンの実現に向けた4つの基本戦略>

#### **基本戦略1 東部市場の特長を活かした戦略的取組の推進**

- (1) 物流面でのアクセスの優位性のPR
- (2) コールドチェーンに配慮した加工場・冷蔵庫棟の活用
- (3) 場内荷捌き及び保管・加工機能の向上の検討
- (4) 産地との関係性強化による特色ある集荷
- (5) 部門間及び卸売業者・仲卸業者間の連携促進による総合力の発揮

#### **基本戦略2 市場活性化へ向けての取り組み**

- (1) 開かれた市場づくりの更なる推進による賑わいの創出
- (2) SNSなど様々な媒体を活用した情報発信
- (3) 新たな仲卸業者、売買参加者の参入促進

#### **基本戦略3 施設の計画的活用の検討**

- (1) 施設の計画的な改修等による市場機能の維持・向上
- (2) 特設棟、軟弱そ菜棟などの再活用の検討
- (3) 施設管理、衛生・品質管理体制の確立・運用

#### **基本戦略4 新たな課題への対応**

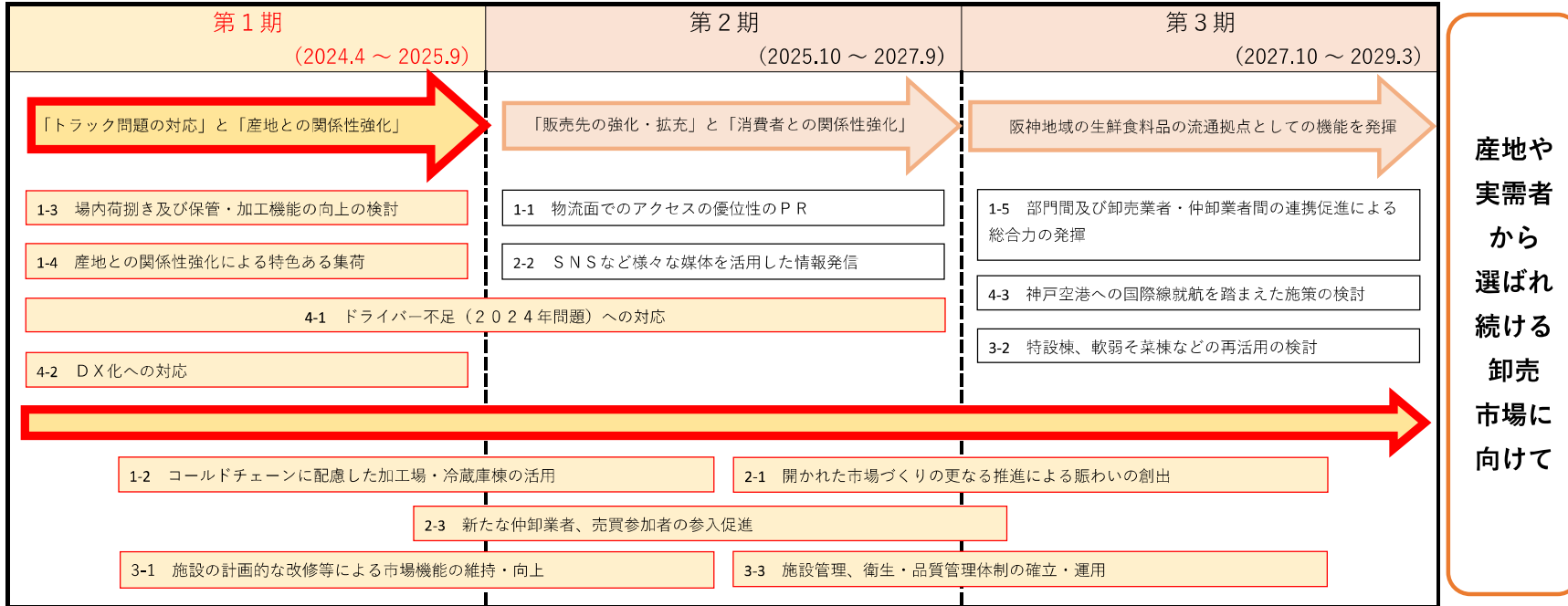
- (1) ドライバー不足(2024年問題)への対応
- (2) DX化への対応
- (3) 神戸空港への国際線就航を踏まえた施策の検討

## 6. ロードマップと行動計画一覧

---

経営展望計画  
の取組テーマ

東部市場の特徴を活かした戦略的取組と市場活性化に向けた継続的取組を積極的に行う。  
また、新たな課題に対応するためのフォローや、将来を見据え施設を計画的に活用するための検討を行う。



第1期の取組テーマ

2024年流通問題と金融機関の移転に伴う業態変化に対応することを優先的に行う。特に流通問題については、産地や他市場との協議の機会を設け、集荷力の向上と関係性強化に努める。

- 取組評価項目：産地との関係構築状況 手荷役作業量・時間の把握 流通動向・実需者状況の把握 小切手等の金融取引の電子化への対応  
品質管理の徹底 消費者向けイベントの継続実施 新たな事業者の参入 低・未利用施設の把握 場内美化の推進

第2期の取組テーマ

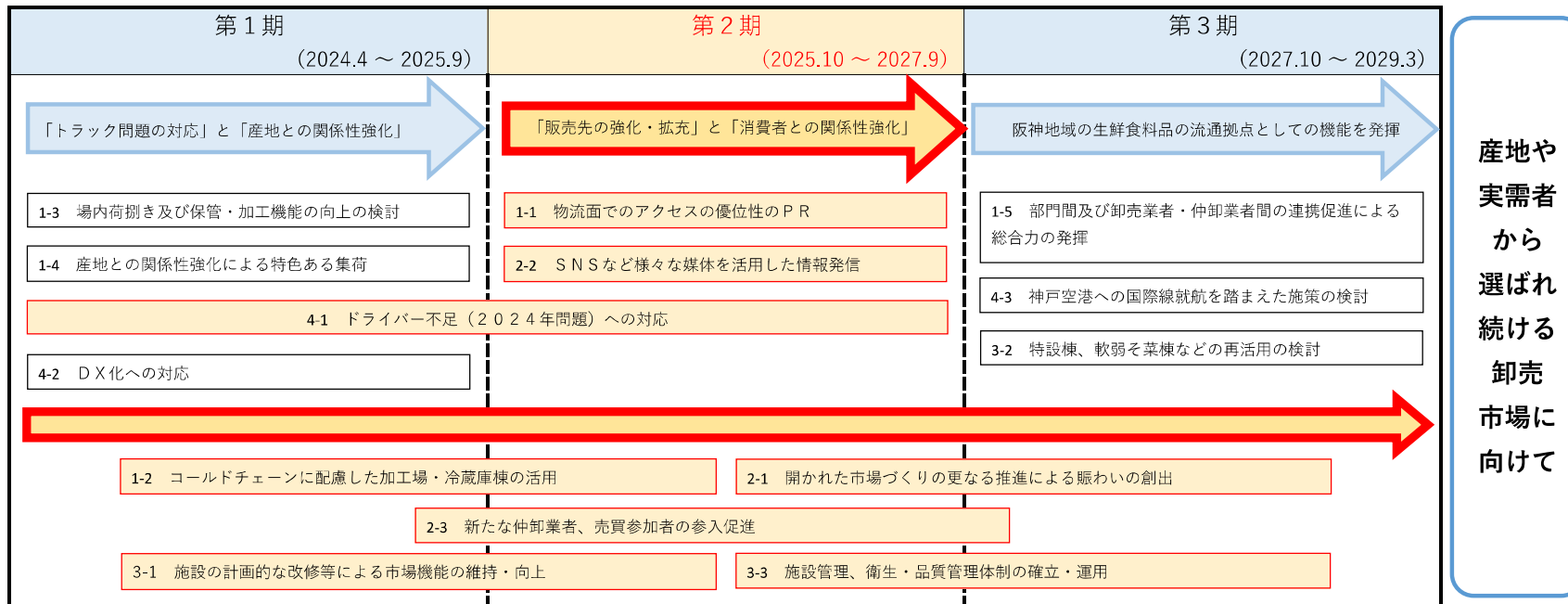
東部市場の特徴を活かした戦略的な取組を実施し、産地及び販売先との関係性を強化する。また、消費者に対し情報発信を進め、市場や食の理解を深める。

第3期の取組テーマ

第2期までの取組を部門間で連携する等して強化し総合力を発揮する。また、5年間の総括をするとともに、新たな環境変化に対応する体制づくりを進める。

経営展望計画  
の取組テーマ

東部市場の特徴を活かした戦略的取組と市場活性化に向けた継続的取組を積極的に行う。  
また、新たな課題に対応するためのフォローや、将来を見据え施設を計画的に活用するための検討を行う。



第2期の取組テーマ

アクセスが良い立地とコンパクトにまとまった総合市場という東部市場の特徴を活かした戦略的な取組を実施し、産地及び販売先との関係性を強化する。また、消費者に対し情報発信を進め、公共インフラとして食の安全を支える市場の役割について理解を深める機会を設ける。

取組評価項目：産地との関係構築状況 販売店との連携によるPR状況 情報発信手法の検討状況 ・・・ ・・・ ・・・  
・・・ ・・・

第1期の実績

・・・が・・・できた。

第3期の取組テーマ

第2期までの取組を部門間で連携する等して強化し総合力を発揮する。また、5年間の総括をするとともに、新たな環境変化に対応する体制づくりを進める。



経営展望計画  
の取組テーマ

東部市場の特徴を活かした戦略的取組と市場活性化に向けた継続的取組を積極的に行う。  
また、新たな課題に対応するためのフォローや、将来を見据え施設を計画的に活用するための検討を行う。



第 3 期の取組テーマ

第 2 期までの取組を部門間で連携する等して強化し総合力を発揮する。また、5年間の総括をするとともに、新たな環境変化に対応する体制づくりを進める。

取組評価項目：共同営業の展開状況 輸出に向けた取組課題の検討状況 ・・・・・・・・・  
・・・・・・

第 1 期の実績

・・・が・・・できた。

第 2 期の実績

・・・に取り組んだ。

## 7. 計画管理と評価基準

本計画の計画管理は、開設者が取組状況をとりとまとめ、「東部市場専門部会※」において計画の取組状況の評価を行うとともに、より効果的な取組に向けた助言をいただくこととします。

なお、卸売市場においては、全国的な気候変動、経済変動などの不確定要素等に大きな影響を受ける可能性があり、これらに対して柔軟かつ迅速に対応していく必要があります。そこで、東部市場専門部会では、本計画内容の見直しも対象とします。

### □東部市場専門部会による評価・検証、計画見直し等

- 本計画の取組の進捗状況の確認・評価、必要に応じた計画の見直しを実施
- 本計画のより効果的な取組に関する助言を行うとともに、必要に応じて計画の見直しを実施

### □場内における会議体を通じた取組進捗確認・PDCAの運用

- 現場取引委員会を通じた部門別の取組事項の評価と実行
- 青果部・水産物部の戦略会議・花き部の企画会議を通じた部門別の取組進捗確認

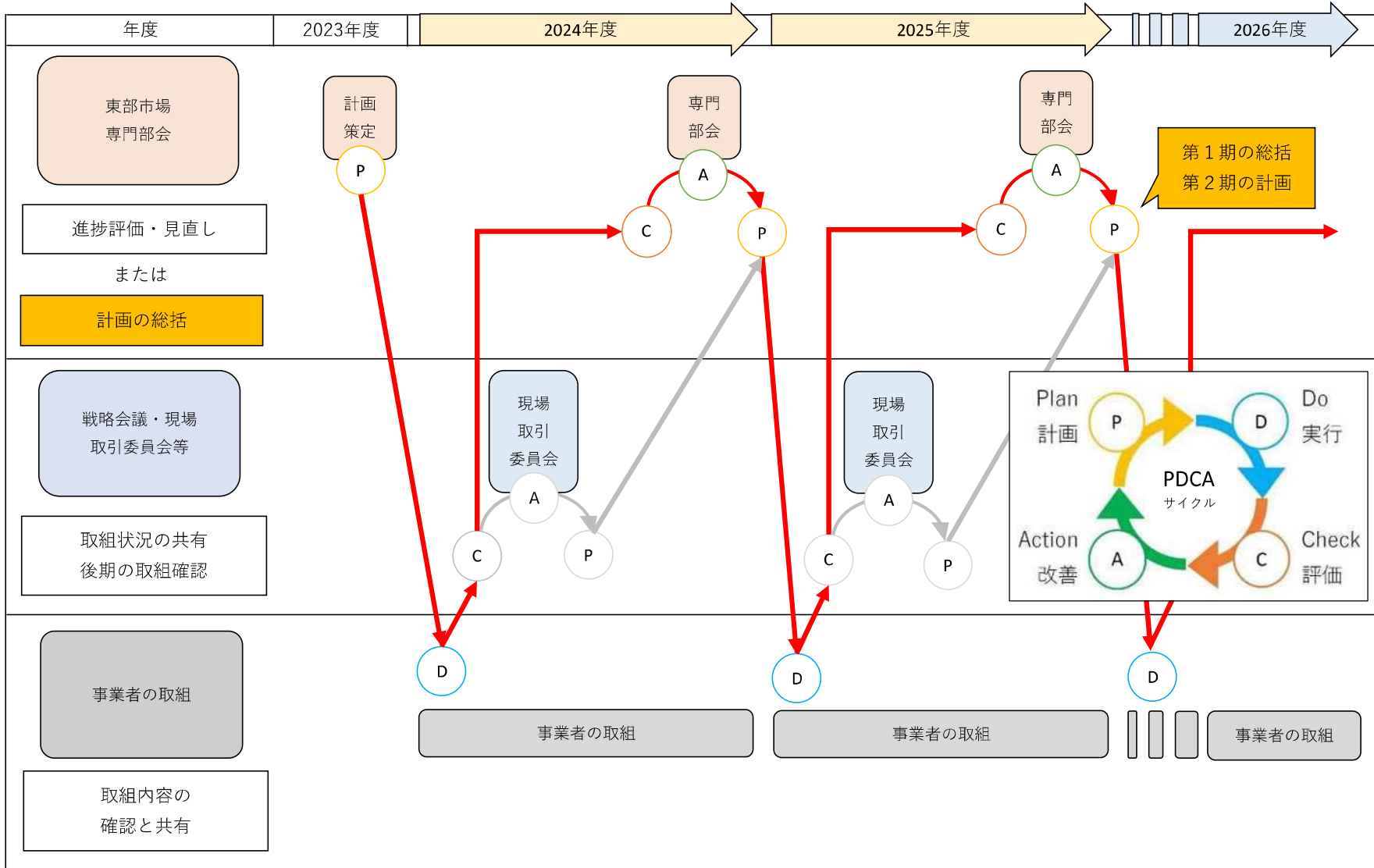
### □その他、本計画の進捗確認のための手法

- 事業報告等を通じた取組進捗確認
- 開設者に寄せられた場内事業者の問合せ・意見等を通じた状況確認
- 活性化事業における来場者アンケート等の実施による状況確認  
(属性、満足度・再訪意欲、情報収集手段、改善方策等の収集)
- 取組事例を有する卸売会社・仲卸組合等への個別ヒアリング

※ 「東部市場専門部会」

卸売市場法第13条及び神戸市中央卸売市場業務条例第68条に基づく「神戸市中央卸売市場業務運営協議会」で市場ごとに設置することができる部会

経営展望計画のPDCA運用イメージ



## 8. 参考

・専門委員会委員名簿 [委嘱期間:令和7年2月28日まで]

	氏名(敬称略)	役職等	
部会長	にしむら じゆんじ 西村 順二	甲南大学経営学部 教授	学識経験者
委員	おの まさゆき 小野 雅之	摂南大学農学部 教授	学識経験者
委員	やまもと たかこ 山本 孝子	神戸市消費者協会	消費者代表
委員	さの まさかず 佐野 正和	兵庫六甲農業協同組合 こうべ旬菜部 会長	生産者団体
委員	すぎした まさかず 杉下 雅一	神戸市東部中央卸売市場小売団体協 議会 会長	小売団体
副部会長	ただ たつひと 多田 哲仁	神戸中央青果株式会社 代表取締役社 長	卸売業者
委員	やぎ たいちろう 八木 太一郎	神港魚類株式会社 東部支社長	卸売業者
委員	かなおか まさひろ 金岡 正倍	株式会社大水 神戸東部支社長	卸売業者
委員	あずま のぶゆき 東 信行	株式会社JF兵庫県生花 代表取締役 社長	卸売業者
委員	ごとう まさひろ 後藤 雅弘	神戸東部青果卸売協同組合 理事長	仲卸業者団体
委員	むらかみ よしくに 村上 義國	神戸市東部水産物卸売協同組合 理事長	仲卸業者団体
委員	すがの けいぞう 菅野 恵三	神戸市東部市場関連事業者組合 理事長	関連事業者団 体
委員	しばさき もとなり 芝崎 元就	神戸市健康局保健所食品衛生検査所 所長	食品衛生行政 機関
委員	ひさやす たかひろ 久安 隆弘	神戸市東灘区副区長	地元行政機関
委員	あさかわ かずや 浅川 一哉	神戸市中央卸売市場東部市場 場長	開設者

R5年度策定 東部市場経営展望計画 2024年-2028年 行動計画一覧

ビジョン：産地や実需者から選ばれ続ける卸売市場に向けて

NO.	取組事項 ( 上段：取組項目 下段：□取組例 )	主体	2024	2025	2026	2027	2028
<b>基本戦略1. 東部市場の特長を活かした戦略的取組の推進</b>							
1-1	物流面でのアクセスの優位性のPR						
	産地と流通コスト削減の取組を協議・実施 □意見交換会 □戦略会議 □事業活用の検討 □取組試行実施 □市場間転送 □共同運行便の継続	全事業者	◎	◎	◎	○	○
	複数の交通網を使用可能であることをPR □販売店にPR □産地にPR □SNSの活用 □PR動画の活用	全事業者	◎	◎	◎	○	○
	消費者へ市場をPR(新鮮さ・安全等) □販売店との連携によるPR □SNSの活用 □イベントの活用	全事業者	○	◎	◎	◎	○
1-2	コールドチェーンに配慮した加工場・冷蔵庫棟の活用						
	実需者のニーズへの対応したサービスの提供◎ □コールドチェーンの推進 □品質管理の徹底 □パック・カット加工機能の強化 □特色ある商品の開発	3部門					▶
	設備効果の産地へのPR強化 □産地・実需者の施設見学 □PR動画の活用	3部門	◎	◎	◎	○	○
	積み込み・積み出し時間の短縮及び効率化 □手荷役作業量・時間の把握 □場内動線の最適化検討	3部門	◎	◎	◎	○	○
1-3	場内荷捌き及び保管・加工機能の向上の検討						
	保冷・予冷設備の必要性の検討◎ □既存機能の有効活用 □不足機能・空きスペースの把握	3部門					▶
	荷捌き場のコールドチェーンの確立 □温度管理の徹底 □扉・シートの適正使用(開閉) □機能の拡充	青果・水産(仲)	◎	◎	○	○	○
	場内事業者間の連携 □共同営業 □部門を越えた共同集荷 □部門を越えた共同配送	全事業者	◎	◎	○	○	○
1-4	産地との関係性強化による特色ある集荷						
	産地のブランド向上に貢献し、販売力を強化する◎ □特色ある集荷の実施 □産地フェアの実施 □産地と戦略会議	3部門					▶
	県産品の取扱を増やす◎ □地元農協・漁協と新規取引 □ひょうご卸売市場協働ネットワークの活用	3部門					▶
1-5	部門間及び卸売業者・仲卸業者間の連携促進による総合力の発揮						
	実需者・産地への共同営業の展開 □同部門の卸・仲卸で共同営業 □他部門の事業者と共同営業	3部門	○	○	○	◎	◎
<b>基本戦略2. 市場活性化へ向けての取り組み</b>							
2-1	開かれた市場づくりの更なる推進による賑わいの創出						
	消費者向けイベントの継続実施◎ □お買物デー・横丁まつり □料理教室 □食育・花育 □市場見学会 □地域との繋がり強化	全事業者					▶
	産官学連携の推進(大学連携)◎ □学生の活性化事業への参画 □若い人材力の活用 □地域づくり	全事業者					▶
2-2	SNSなど様々な媒体を活用した情報発信						
	情報発信手法の検討・運用(B to B) □展示会・商談会の実施 □SNS(Instagram等)の活用	全事業者	○	◎	◎	◎	○
	情報発信手法の検討・運用(B to C) □見学の実施 □SNS(Youtube等)の活用 □発信用素材の収集	全事業者	○	◎	◎	◎	○

R5年度策定 東部市場経営展望計画 2024年-2028年 行動計画一覧

ビジョン : 産地や実需者から選ばれ続ける卸売市場に向けて

NO.	取組事項 ( 上段:取組項目 下段:□取組例 )	主体	2024	2025	2026	2027	2028
2-3	新たな仲卸業者、売買参加者の参入促進						
	新たな実需者を有する新規仲卸業者等の誘致◎ □新規参入に対する寛容性の維持・醸成 □仲卸業者の新規参入	3 部門					▶
	関連事業の強化・新規事業者の誘致◎ □新規事業者の参入	関連					▶
基本戦略3. 施設の計画的活用の検討							
3-1	施設の計画的な改修等による市場機能の維持・向上						
	市場機能の安定に向けた取組の推進◎ □BCPの共有 □保全計画の適正な管理 □長寿命化の推進	全事業者					▶
	市場施設の最適レイアウトの検討 □低・未利用施設の把握 □検討会の実施 □場内動線の最適化	全事業者	-	-	○	◎	◎
3-2	特設棟、軟弱そ菜棟などの再活用の検討						
	市場施設の時間別・空間別最適利用の検討 □利用可能範囲の検討 □本業に支障がないルール作り	全事業者	-	○	○	○	◎
	場内業務の合理化の検討 □業務の効率化 □MRI・ムダ・ムラの削減 □ワークシェア、アウトソーシングの検討	3 部門	-	○	○	○	◎
3-3	施設管理、衛生・品質管理体制の確立・運用						
	場内美化・禁煙の推進◎ □場内清掃の定期実施 □指定場所以外の完全禁煙 □景観美化の実施 □ゴミ処理ルールの周知と遵守 □ゴミ減量化の取組推進 □紙ゴミ分別の推進	全事業者					▶
	市場施設の適正利用の推進◎ □共用設備の適正利用の推進 □施設使用時の取決め事項の遵守 □事故等の抑制 □コンプライアンス意識の浸透	全事業者					▶
	品質管理水準の向上 (HACCP等) ◎ □衛生管理の徹底 □食品衛生検査所の研修会等の参加	全事業者					▶
基本戦略4. 新たな課題への対応							
4-1	ドライバー不足 (2024年問題) への対応						
	産地と集荷に関する戦略的提携の検討・協議 □産地と協議 (集荷) □物流会社と協議 (配荷)	3 部門	◎	◎	○	○	○
	荷待ち・待機時間の動向調査 □動向把握 □場内関係者間での情報共有 □荷待ち・待機時間の最適化	3 部門	◎	◎	◎	○	○
4-2	DX化への対応						
	金融DX化の推進 □小切手等の金融取引の電子化への対応 □キャッシュレス対応の検討	全事業者	◎	◎	◎	○	○
	出荷・納品伝票などの電子化・オンライン化の推進 □伝票の電子帳簿化 □情報管理システムの導入および対応	青果・水産	○	◎	◎	○	○
4-3	神戸空港への国際線就航を踏まえた施策の検討						
	輸出入の取組に関する課題整理・検討等 □輸出に向けた取組課題の検討 □輸出に向けた対応策の検討	3 部門	-	-	○	◎	◎